

H.265 Full AHD & TVI デジタルビデオレコーダー 取扱説明書

— DVR —

JV-1666-UHJ 16ch DVR

JVS 日本映像システム株式会社

安全上のご注意

※安全のため、ご使用前には必ずこの「安全上の注意」をお読み下さい。

※ここに指示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。

この説明書では、危険をその内容、程度に応じ次の2種類に分けています。

 警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。	 注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、状況によっては人が障害を負う可能性があるもの、または、物的損害が発生する可能性があるもの
---	--	---	---

この説明書では次のような絵表示をしています。

	絶対に行なわないで下さい。		警告注意を促す内容があります。必ず守ってください。		必ず指示に従い行なって下さい。
---	---------------	---	---------------------------	---	-----------------

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

 警告	
	本機を発火や引火の可能性のある場所に設置しないで下さい。また、湿気の多い場所や雨がかかる場所に設置しないでください。火災や故障の原因となることがあります。
	本機を逆さまや縦置き設置しないでください。また、テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、他の機器を密着させて載せたりして、通風孔をふさがないでください。本機の放熱が阻害され、内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
	本機の分解や改造は絶対に行わないでください。不当な改造や修理により発熱や発火の原因となることがあります。機器の修理や点検は、ご自身で行わず、弊社または販売店にご相談いただき専門の技術員にご用命ください。
	濡れた手で、本機や接続ケーブル等を触らないでください。感電の原因となります。また雷が鳴り出した場合も、本機やケーブルに触れずに、安全の為電源プラグをコンセントより抜くことをお勧めいたします。
	本機の電源電圧は、日本国内でのご使用ではDC12Vです。付属のACアダプタを使用して、正しい電源電圧でご使用ください。ACアダプタには、AC100Vを入力してください。
 注意	
	本機にはリチウム電池を使用しております。使用済みの電池は家庭廃棄物と一緒に廃棄しないでください。電池は専用回収場所に廃棄するか販売店へお持ちください。
	本機と他の機器を接続する場合は、本機または接続機器の取扱い説明書を良くお読みになり、悪影響がないことを確認してください。接続機器が起因する本機の故障等の場合は、本機の保証対象外となります。
	本機で使用する、HDDは寿命製品で保証の対象外となります。安定した運用を行うためには3年に1回、HDDの定期交換を行うことをお勧めいたします。

目 次

1 . はじめに	6
1 -1 機器構成	6
1 -2 各部の名称と機能	7
2 . システムの接続	8
2 -1 他の機器との接続と電源投入	8
2-1-1 本機と他の機器の接続例	
2-2-2 起動と終了	
2 -2 モニターの接続と設定	9
2-2-1 モニターアスペクト比の設定	
2-2-2 モニター解像度の設定	
2-2-3 デュアルモニターの設定	
3 . ライブ操作	12
3 -1 画面の表示と見方	13
3-1-1 ショートカットツールバーの説明	
3-1-2 ライブモードのアイコンの説明	
3 -2 操作アイコンの説明	16
3 -3 ログイン / ログアウト	17
3-3-1 ログイン方法	
3-3-2 ログアウト方法	
4 . 基本設定	20
4 -1 システム設定	20
4-1-1 日付 / 時間設定	
4-1-2 モニター設定 (2-2-2参照)	
4-1-3 入力設定	
①リモコンの設定	
②フロントパネルの設定	
③マウスの設定	
④カメラコントローラーの設定 (PTZキーボード)	
⑤タッチパネルの設定	
4-1-4 ユーティリティ	
①設定の書出し	
②設定の読み込み	
③設定のリセット	
④ログの書出し	
⑤ログの消去	
⑥ファームウェアのアップグレード	
4 -2 イベント設定	26
4-2-1 ビデオロスの設定	
4-2-2 モーション検知の設定	
4-2-3 センサーの設定	

4-2-4	システムイベントの設定	
4-2-5	メール受信者の設定	
4 - 3	録画設定	29
4-3-1	常時録画の設定	
①	常時録画	
②	イベント録画	
4-3-2	スケジュール録画	
4-3-3	録画時間・容量計算	
4 - 4	システム情報	36
4 - 5	カメラ設定	37
4-5-1	PTZ設定	
4-5-2	高等な設定	
①	エンコーダー設定	
②	イメージ設定	
③	モーションエリア設定	
④	タイムスタンプ設定	
4 - 6	ストレージ設定	41
4 - 7	ネットワーク設定	43
4-7-1	DHCPの設定	
4-7-2	LANの設定	
4-7-3	PPPoEの設定	
4-7-4	3Gの設定	
4-7-5	バンド幅制限	
4-7-6	HTTPの設定	
4-7-7	DDNSの設定	
4-7-8	NTPの設定	
4-7-9	メールの設定	
4-7-10	FTPの設定	
4-7-11	ICMP テスト	
4 - 8	アカウント設定	49
4-8-1	Admin 管理者アカウント	
4-8-2	ユーザーアカウント	
4 - 9	その他の設定	51
4-9-1	ポップアップ設定（画面情報表示）	
4-9-2	リレーの設定	
5 .	再生	52
5 - 1	日付検索による再生	52
5-1-1	日付検索方法	
5-1-2	再生画面の操作方法（16 : 9 モード）	
5 - 2	再生（直接再生4 : 3 モードのみ）	54
5 - 3	リモコンによる再生画面操作	55

6 . バックアップ	5 5
6 -1 USBデバイスへのバックアップ	55
6 -2 スナップショットの作成	58
6 -3 リモート接続でのバックアップ	58
6 -4 バックアップファイルの再生	59
7 . オートシーケンス	6 2
8 . システムログ	6 3
8 -1 システムログリストの表示	63
8 -2 イベント再生	65
8 -3 検索基準設定	65
9 . PTZ操作	6 7
1 0 . 映像停止	6 8
1 1 . デジタルズーム	6 9
1 2 . IPカメラ設定	7 0
1 3 . リモート操作（PCからの遠隔操作）	7 4
1 3-1 アプリケーションソフトによる接続「iWatch DVR」	74
1 3-2 IEブラウザからの接続	77
1 3-3 リモート操作	78
①録画ボタン	
②フルスクリーン	
③初期設定	
④ネットワークストリーム	
1 4 . DDNSサーバーの登録	8 0
1 5 . モバイル接続	8 0
1 5 -1 iPhone での接続	80
1 5 -2 Android Phoneでの接続	90
1 5 -3 P2Pでの接続	99

附則：操作PCに必要なシステム仕様	107
-----------------------------	-----

- ご注意：説明書内のチャンネル数、センサー数、リレー数、そして分割画面や解像度の説明図は、実際の機器とはモデルにより異なる場合があります。
- ご注意：本機を重ね置きや、モニター等を載せて通風孔を塞ぐような設置は行わないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。また機器の寿命を著しく短縮させます。
- ご注意：マウス操作が基本です。リモコンやフロントスイッチでは出来ない操作や設定があります。特に設定はマウスで行うようにしてください。
- ご注意：本機の設定画面で設定途中では電源を切らないでください。

1 . はじめに

この度は、弊社のJV-UHJシリーズ DVRをお買い求めいただき、誠に有難うございます。正しく安全にご使用いただくため、お使いになる前に、この説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

1 - 1 機器構成

ご使用の前に、以下の内容物が製品箱に入っていることをご確認ください。

- ① DVR本体
- ② USBマウス
- ③ ACアダプタ電源
- ④ リモコン
- ⑤ リモコン用電池（単4 ×2 個）
- ⑥ CD（取説及びDDNS情報記載）
- ⑦ 簡易説明書

※内容物が揃っていない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

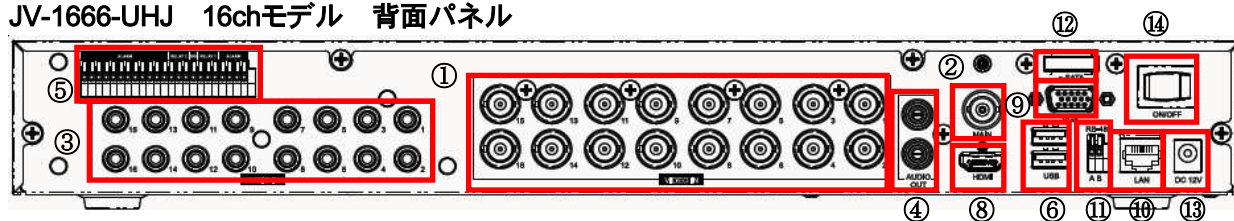
1 - 2 各部の名称と機能

JV666-UHN DVR フロントパネル



- ① USB : USBメモリーを挿入してバックアップファイルを保存
- ② POWERランプ : 電源の投入状態
- ③ HDDランプ : HDDの動作状態
- ④ LINKランプ : インターネット接続状態
- ⑤ RECランプ : 録画状態 (デフォルトでは、電源投入後自動録画に設定されています。)
- ⑥ MENU : 設定メニューへのアクセスPLAY
- ⑦ ENTER : 各項目の決定、画面切換え機能、ソフトウェアキーボードのポップアップ
- ⑧ ESC : 録画映像のバックアップ機能
- ⑨ 矢印ボタン : パスワード入力、各項目の移動

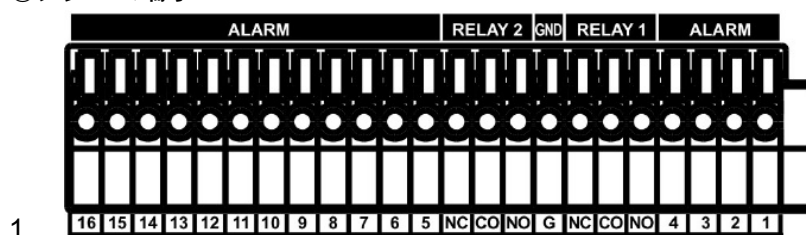
JV-1666-UHJ 16chモデル 背面パネル

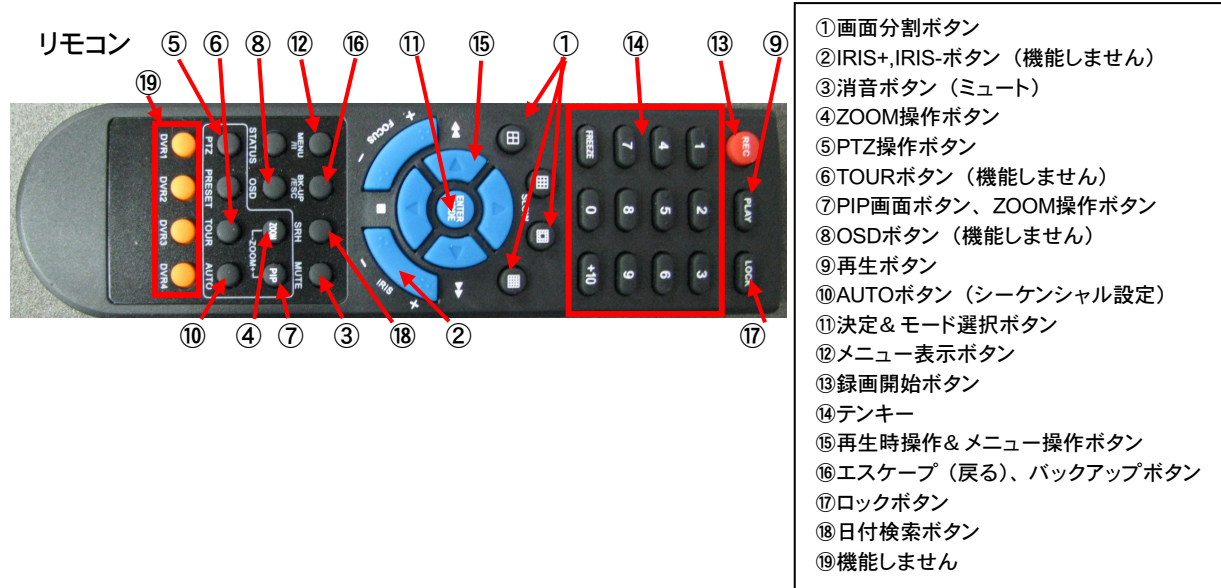


※本DVRは温度対策対応済のため、空冷ファンはついておりません。

- ① 映像入力 : BNCコネクタ NTSC入力
- ② メイン出力 : BNCコネクタ NTSC出力 (操作可能画面)
- ③ 音声入力 : RCAジャック マイクからの音声を入力
- ④ 音声出力 : RCAジャック モニターの音声入力に接続
- ⑤ アラーム端子 : リレー、DI/DO
- ⑥ USB② : マウスを接続 (フロントのUSB①でバックアップが便利です。)
- ⑦ IR : 赤外線リモコン受信の延長機を接続 (延長機はオプション : 受注生産品)
- ⑧ HD-MI : HD-MI出力端子 本機の推奨メイン出力 (操作可能画面・音声出力可)
- ⑨ VGA : アナログコンポーネント出力 本機の推奨メイン出力 (操作可能画面)
- ⑩ NET/LAN : RJ45端子 ネットワーク接続
- ⑪ RS485 接続端子
- ⑫ E-SATA : RAIDボックス等接続
- ⑬ 電源入力コネクタ : DCジャック 付属のACアダプタを接続
- ⑭ 電源スイッチ : 終了させる場合

⑤アラーム端子

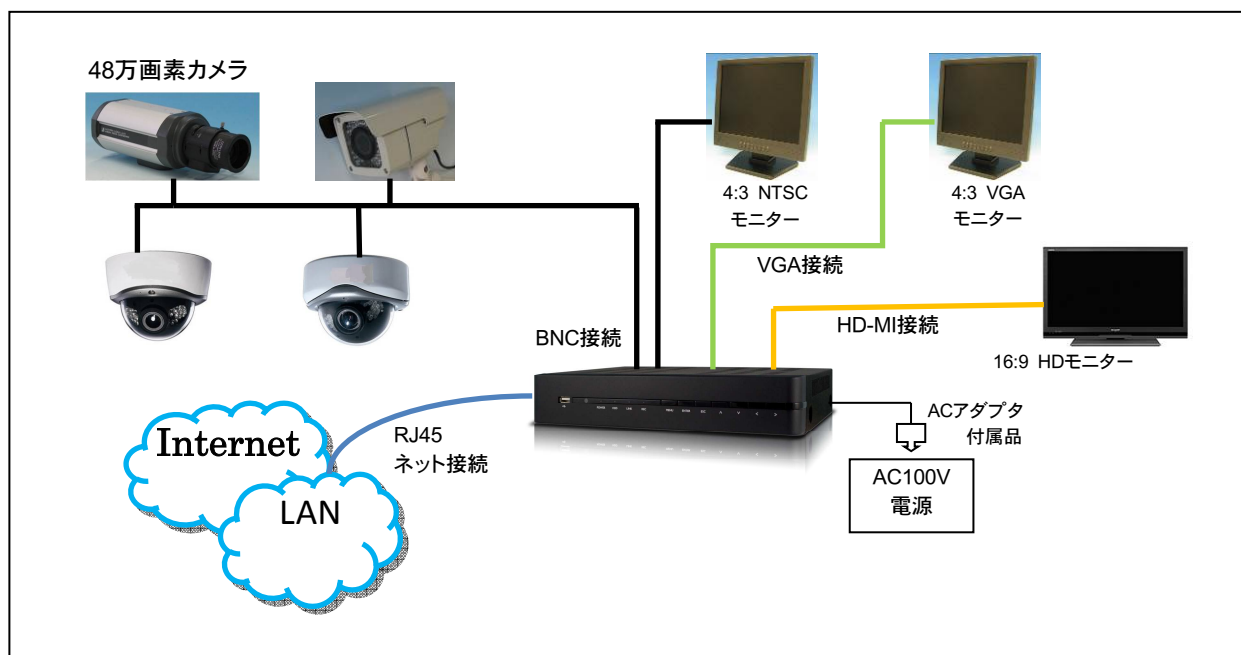




2. システムの接

2-1 他の機器との接続と電源投入

2-1-1 本機と他の機器の接続例



※上図の接続例を参考に、各機器を接続してください。

注意：NTSC接続では、解像度の影響で文字等が読みにくくなります。HD-MI/VGA接続を推奨いたします。

2-1-2 起動と終了

本機は、電源投入により起動を開始します。デフォルト設定では、起動終了後直ちに画像の録画を開始いたします。

本機を終了させる場合は、マウスを画面上部に移動し、ショートカットツールバーの「シャットダウン」をクリックした後、「はい」をクリックし、ACアダプタを電源コンセントプラグから外して下さい。

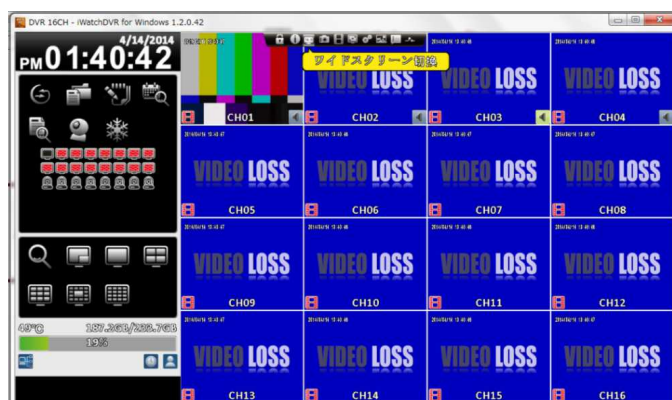


2-2 モニターの接続と設定

2-2-1 モニターのアスペクト比の設定

本機では、アスペクト比が 4 : 3 と 1 6 : 9 のモニターとの接続をサポートしています。

マウスを画面の上部に移動させると、下図の様なショートカットツールバーが現れます。



“ワイドスクリーン切換”と表示されたアイコンをクリックすると、4 : 3 モードに切り替わります。さらに、もう一度クリックすると、1 6 : 9 モードに戻ります。ご使用のモニターに合わせて、この操作を繰り返しアスペクト比の設定を行って下さい。

1 6 : 9 モードでは、画面左に操作メニューが表示されます。
(この画面では付属のリモコンの操作は行えません。)

4 : 3 モードでは、マウスの右クリックでメニューが表示されます。



※表示されたメニューは、再度マウスを右クリックすることで消すことができます。

2-2-2 モニターの解像度の設定

ご使用のモニターに合った、解像度を設定します。

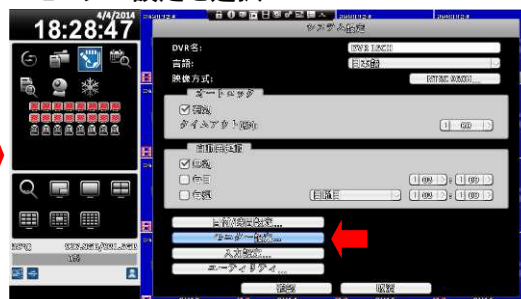
メニュー⇒システム設定⇒モニター設定

(ログインパスワード1 2 3 4 5 6 を入力します。3 -3 ログイン/ログアウトを参照ください。)

システム設定を選択



モニター設定を選択



モニター設定画面



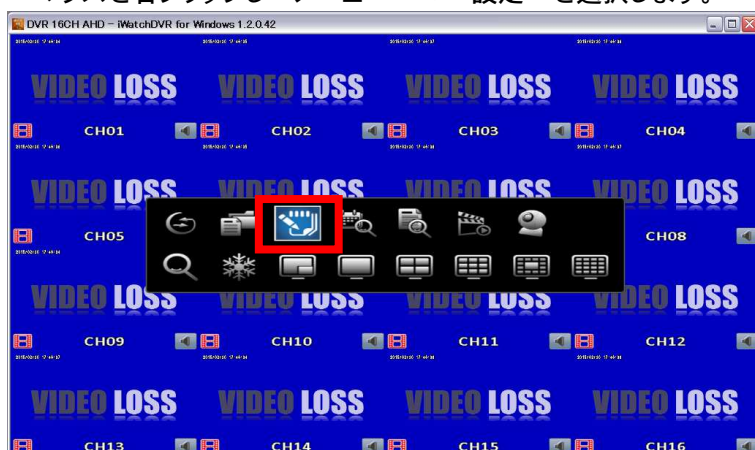
ご使用のモニターに合わせた、解像度を選択して”はい”を選択します。

(HDモニターでは、1920×1080 が推奨です。)

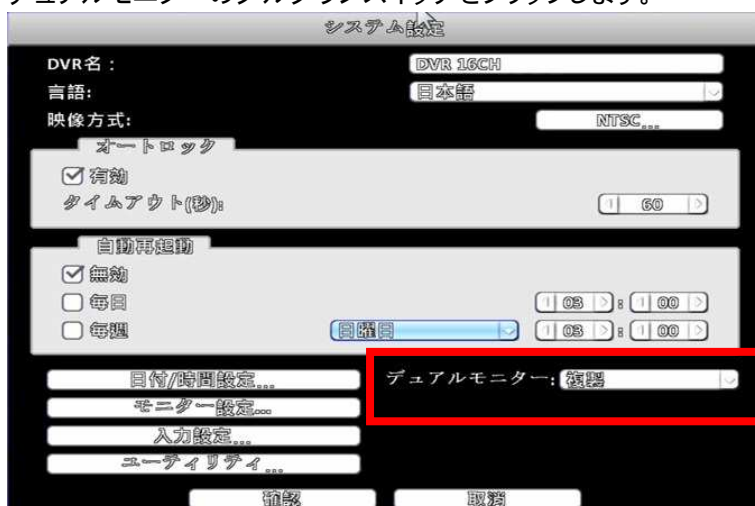
選択終了後、☒ マークを選択して、設定完了です。

2-2-3 デュアルモニターの設定

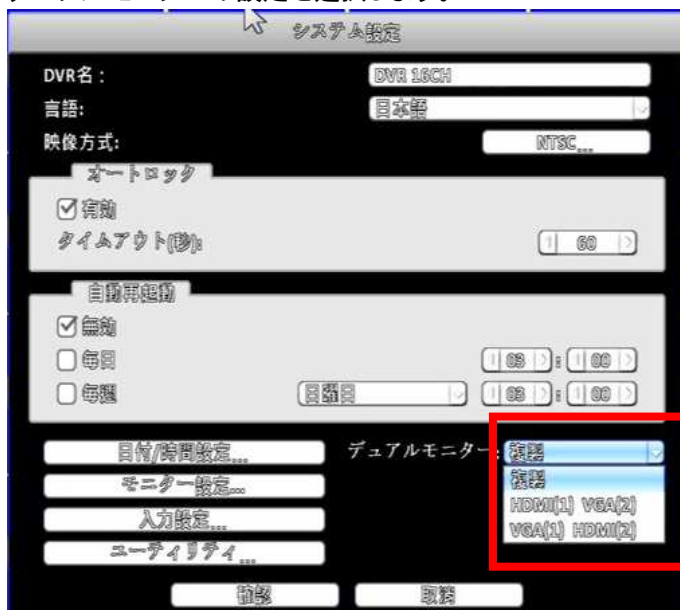
マウスを右クリックし メニュー ⇒ 設定 を選択します。



デュアルモニターのプルダウンスイッチをクリックします。

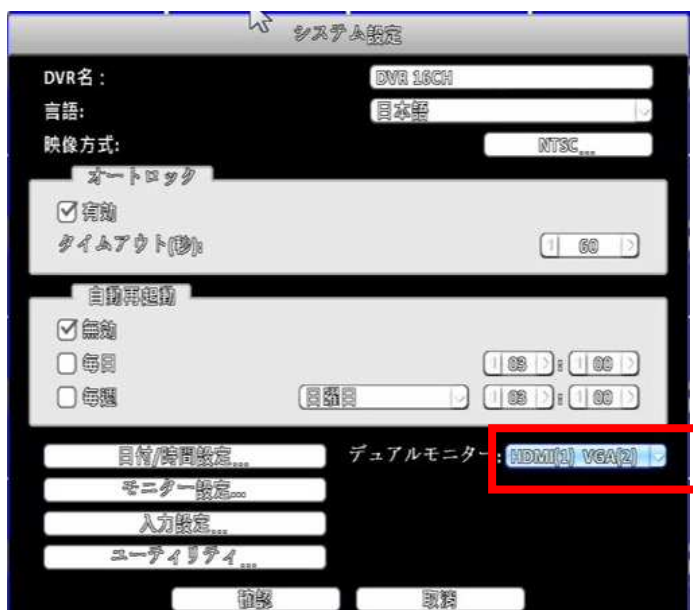


デュアルモニターの設定を選択します。



複製	2台のモニターで操作が可能。
HDMI(1) VGA(2)	HDMIのモニターが操作可能。
VGA(1) HDMI(2)	VGAモニターが操作可能。

下図はHDMIモニターをメインモニター（操作可能）に設定



メインモニターに設定された画面にはマウスのアイコンが表示されます。



※注意：モニターを1台で運用する場合は、複製設定でご使用ください。

3. ライブ操作

本機の電源を投入すると、ライブモードが立ち上がります。ライブモードでは、リアルタイムの映像を見ることが出来ます。DVRの全てのチャンネルや、1画面のみ等、分割画面パターンを選択してライブ映像を見ることが出来ます。

16:9モードでは、2つのパートに分かれ、一つは設定パート、もう一つは各チャンネルの映像表示パートとなります。

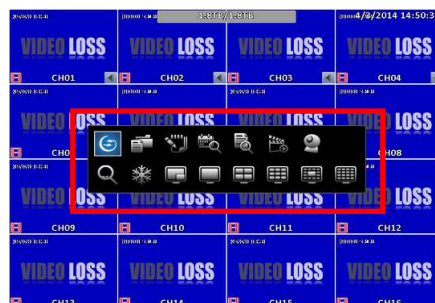
4:3 モードでは、スクリーン上でマウスを右クリックすると、画面中央に設定メニューが現れますので、マウスにより操作を行ってください。

3 - 1 画面の表示と見方

16 : 9 モード

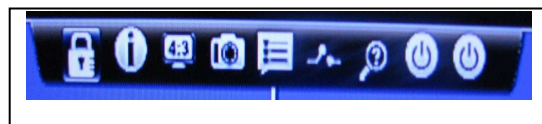


4 : 3 モード



上記の赤枠が、メインメニューです。メニュー上にマウスを移動すると、アイコン名が表示されます。

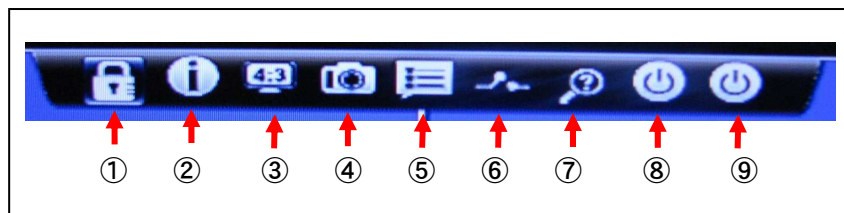
メインメニューの他に、ショートカットツールバーでも機能選択ができます。



マウスを画面上部に移動すると、上図のような

ショートカットツールバーが表示されます。

3-1-1 ショートカットツールバーの説明



- ① ユーザーログイン/アウト
- ② システム情報
- ③ ワイドスクリーン切換え
- ④ スクリーンショット
- ⑤ ポップアップ設定
- ⑥ リレー
- ⑦ ログインパスワードを送信
- ⑧ シャットダウン
- ⑨ 再起動

注意：ショートカットツールバーは、ローカルとリモートでは表示内容が異なります。

- ①ユーザーログイン/ログアウト  (3 - 3 ログイン / ログアウト参照)
ユーザーログインとログアウトを行います。ユーザーの切り替えが行えます。

- ②システム情報 
システム情報が表示されます。ファームのバージョンや搭載 HDD 等現在の状態を表示します。

- ③ワイドスクリーン切り換え 
16 : 9 モード と 4 : 3 モードを切り替えます。

- ④スクリーンショット 
現在の画像を静止画で保存します。ローカルでは USB メモリーに、リモートでは PC に保存されます。

- ⑤ポップアップ設定 
イベントマークや HDD 残量等、画面表示の内容を選択して設定します。

- ⑥リレー 
リレーの “ON” / “OFF” / “自動” の設定を行います。

- ⑦ログインパスワードを送信 

- ⑧シャットダウン  (ローカルのみ、リモートでは表示されません。)
終了する場合、シャットダウンしてから電源を切ります。

- ⑨再起動 
再起動を行います。

3-1-2 ライブモードのアイコン説明

下記の表は、画面上に表示されているアイコンの説明です。

アイコン	説明
	録画中のチャンネル
	ライブ音声の有効なチャンネル
	ライブ音声が無効のチャンネル
	映像信号の有効なチャンネル
	イベント録画の有効なチャンネル
	モーション録画の有効なチャンネル
	アラーム録画の有効なチャンネル 有効なアラーム数は、モデルにより異なります
	アラームが無効なチャンネル
	ビデオロスになっているチャンネル
	USB デバイスの検出
	DVD デバイスの検出
	ネットワーク接続が有効
	ネットワーク接続が無効
	現在のユーザーを表示
38°C 748.59GB/753.32GB 99% 使用容量/全容量	HDDの使用状況と空きスペースの表示 (左の表示は、99%使用中で、空きスペース1%を表します。)。現在のHDDの温度を表示します
	各チャンネルのタイムスタンプが表示されます

3-2 操作アイコンの説明

16 : 9 モード



4 : 3 モード



本機の操作アイコンは、16 : 9 モードでは画面左側、4 : 3 モードではマウスの右クリックにより、赤枠のように表示されます。4 : 3 モードのみ直接再生のアイコンが出ます。

アイコン	概 要
	オートシーケンス設定メニューを呼び出します
	画像のバックアップメニューを呼び出します (USBポートにUSBを接続して下さい)
	設定メニューへのアクセスです。録画設定、イベント設定、カメラ設定、アカウント設定、ネットワーク設定、ストレージ設定、システム設定とシステム情報
	日付検索メニュー：録画されたビデオの日付 / 時間検索再生
	システムログ：イベントを含むログリストへのアクセスです イベントリストから再生することも出来ます
	PTZモードの操作メニューを呼び出します
	デジタルズーム機能：DVRは2倍から8倍までのデジタルズーム機能をサポートします
	静止画機能 (画像が動画の場合、アイコンが表示されます)
	静止画機能の無効にして、動画を再開します。 (画像が静止画の場合、アイコンが表示されます)

	再生ボタン (4 : 3 モードのみのアイコンです)
	PIP機能の有効と無効 (ピクチャー イン ピクチャー) (8ch・16chモデルのみのアイコンです)
	1画面表示への切換え
	4分割表示への切換え
	9分割表示への切換え
	13分割表示への切換え
	16分割表示への切換え

最初に操作アイコンを選択すると、ログインパスワードの入力を要求されます。また、ログアウト後（自動ログアウト含む）の再操作でも、同様にログインパスワードが要求されます。
（表示のみのアイコンでは、ログインパスワードは要求されません。）

ログインについては、3 -3 ログイン/ログアウトを参照ください。

3 -3 ログイン / ログアウト

本機では、設定操作や再生を行う場合、ログインアカウントとユーザーパスワードが要求されます。デフォルトでは、管理者のアカウント“admin”とパスワード“1 2 3 4 5 6”が設定されています。その他のアカウントによるログインは、新しいアカウントの作成が必要です。
（新アカウントの作成は、4-8-2 ユーザーアカウントを参照ください。）

ショートカットツールバーからも、ログイン/ログアウトが行えます。本体を部外者に触られたくない場合等は、使用後にログアウトすることを推奨いたします。

3-3-1 ログイン方法

手順 1：設定アイコンを選択すると、ログインの画面が表示されます。

デフォルトでは、admin のアカウントでログインすることになります。



上図でアカウント名の下横長のバーをマウスでクリックします。

手順 2：ソフトウェアキーボードが表示されますので、パスワードを入力します。

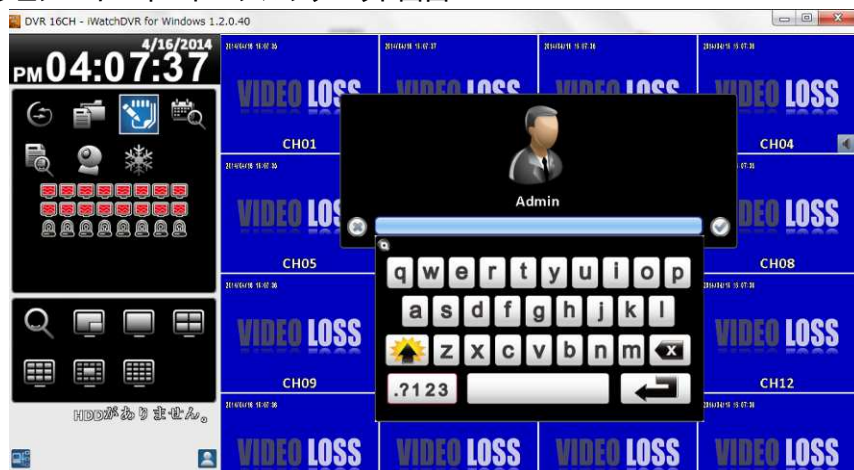


デフォルトパスワード “1 2 3 4 5 6” を選択して、エンターの選択でログインが完了します。

ソフトウェアキーボードの機能説明

キー	各キーの機能
 / 	数字画面とアルファベット画面を切り替えます
 / 	アルファベット画面での、大文字と小文字を切り替えます
	最後の文字を消去します
	エンターでパスワードが確認されます。パスワードが正しければ、DVRの設定メニュー画面が表示されます
	スペース

ソフトウェアキーボード：アルファベット画面



リモコン使用時のボタン

項 目	概 要
◀ ▶	前項目、次項目に切り替えます
▲ ▼	違う項目に切り替えます。
MENU	設定の保存、ライブモードに戻ります
ESC	保存せずに、上の階層に戻ります
ENTER	メニューに入る、キーボードの表示

※リモコンでは、メニュー操作ボタン、フロントパネルでは、セレクトボタンを使用してパスワードを入力してください。

3-3-2 ログアウト方法

本機のログアウトには、2 つの方法があります。

- ①ショートカットツールバーからのログアウト（3-1-1 ショートカットツールバーの説明参照）
- ②オートロック（自動ログアウト）

設定⇒システム設定の画面



オートロック：有効のチェックボックスにチェック入れ、機能を有効にします。

タイムアウトの秒数を設定します。

オートロックを有効にすると、最後の操作から設定時間が経過すると、自動的にロックされてログアウトとなります。再度操作する場合は、ログインが必要となります。

4. 基本設定

設定 アイコン



4-1 システム設定 アイコン



設定⇒システム設定の画面

DVR名: “DVR 8CH AHD” (デフォルト8chモデル)

名前の変更が可能です。窓をクリックすると文字キーが出ます。
PCからのリモート操作では、DVR名が使用されます。

言語: “日本語” (デフォルト日本語)

24ヶ国語から選択ができます。

映像方式: NTSC (デフォルト)

NTSC/PAL、NTSCとPALは自動認識です。

注意: 日本国内では、PALはご使用になれません。

オートロック: タイムアウト60秒がデフォルトです。(60秒でログアウトします。)

枠をクリックすると数字キーが出ます。10秒～9999秒の設定が可能です。
(3-3-2 ログアウトを参照ください。)

自動再起動: デフォルト無効

設定内容のタイミングで自動再起動を行います。

毎日何時/毎週何曜日何時から選択します。

4-1-1 日付/時間設定

設定⇒システム設定⇒日付/時間設定



設定⇒システム設定⇒日付/時間設定の画面



時間表示形式：24時間表示と午前/午後表示の選択が出来ます。

日付表示形式：日付の表示パターンを "9 パターン"から選択できます。

タイムゾーン：日本時間：GMT+ 9

設定⇒システム設定⇒日付/時間設定⇒日付/時間変更の画面



日付/時間変更：年/月/日を選択後、時間を入力（入力キー）して“確認”をクリックします。

4-1-2 モニター設定

解像度、境界線色、輝度、コントラスト、彩度、色調の設定ができます。

(2-2-2 モニターの解像度の設定 を参照ください。)

4-1-3 入力設定

マウスやリモコン等の入力操作をする機器の設定を行います。

設定⇒システム設定⇒入力設定の画面



① 設定⇒システム設定⇒入力設定⇒リモコンの画面



リモコンで操作を行う場合、チェックボックスを有効にしてください。(デフォルト有効)

リモコンID：付属のリモコンでは設定できません。(オプションリモコンが必要です。)

② フロントパネル：ボタンのテストが行えます。

キートンのチェックボックスを無効にすると、フロントパネルスイッチ音が消音されます。

③ 設定⇒システム設定⇒入力設定⇒マウスの設定画面



マウスの速度調整：左が遅い、右が早い となります。ローカルの操作のみ有効です。

④ カメラコントローラー：PTZの操作キーボードの設定を行います。

注意：カメラのプロトコル設定では、ありません。プロトコルはカメラ設定で行います。

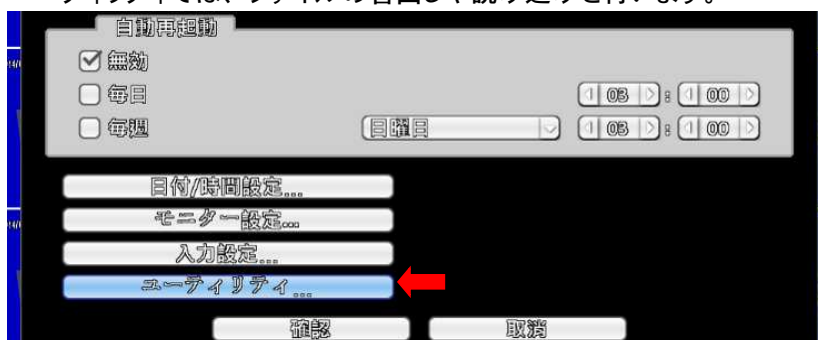
⑤ タッチパネル：サポートしていません。

注意：設定後は確認でOKとなります。設定を中断する場合は取消を選択してください。

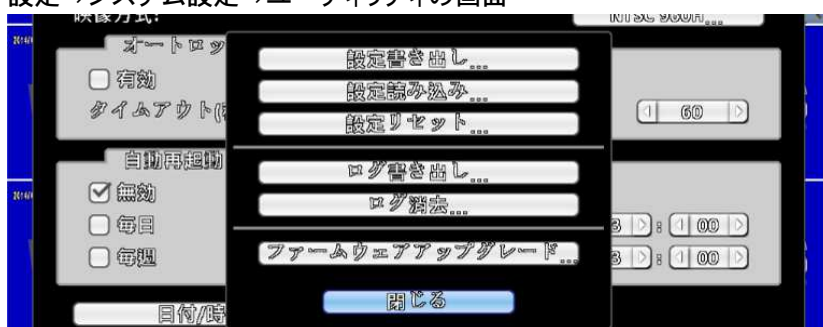
リモコンやフロントパネルでは設定できない項目もございます。

4-1-4 ユーティリティ

ユーティリティでは、ファイルの書き出しや読み込みを行います。



設定⇒システム設定⇒ユーティリティの画面



設定書き出し	DVRの設定をUSBメモリーにエクスポートします
設定読み込み	USBメモリーからDVRへ設定を入れます
設定リセット	システム設定をリセットします
ログ書き出し	DVRのログをUSBメモリーに保存します
ログ消去	DVRのシステムログを全て消去します
ファームウェアアップグレード	DVRファームを USBメモリーからアップグレードします アップグレードの時は、全ての録画/再生は事前に停止してください アップグレード終了後、システムは自動的に再起動を行います

(下線項目は、USBメモリー接続により操作可能となります。)

① 設定書き出し (USBまたはPCへ)



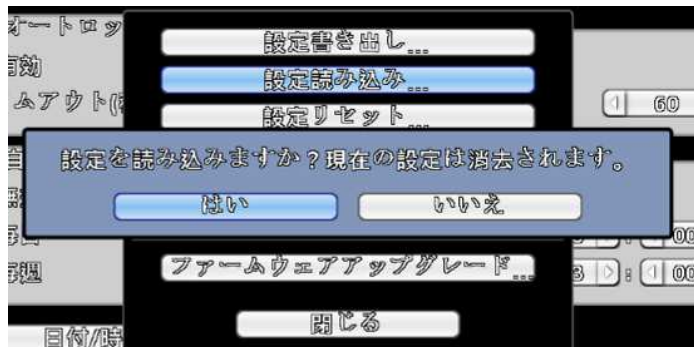
リモート操作からPCへ書き出しする場合は、別名で保存を選択します。

注意：ローカルでの操作は、USBメモリーのみとなります。

保存されたファイル名は、dvr.cfg となります。

②設定読み込み

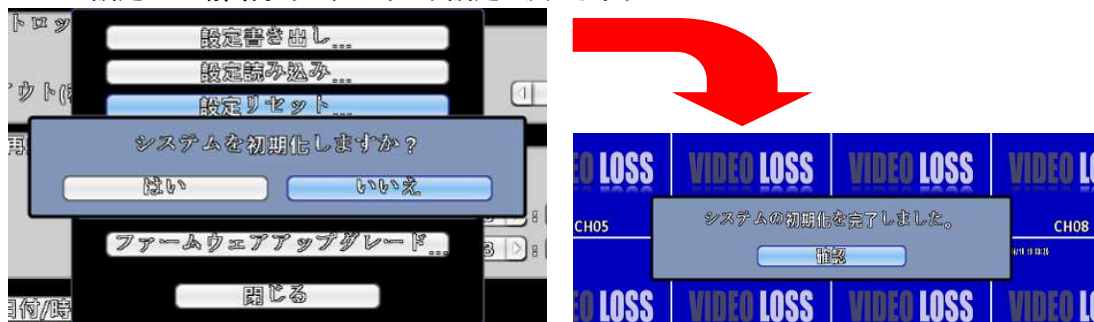
USBやPCから設定を読み込みます。注意：ローカルでの操作はUSBメモリーのみとなります。



保存された設定を読み込みする場合は、「はい」を選択してください。
複数台のDVRを同じ設定で使用する場合に、この機能をご使用ください。

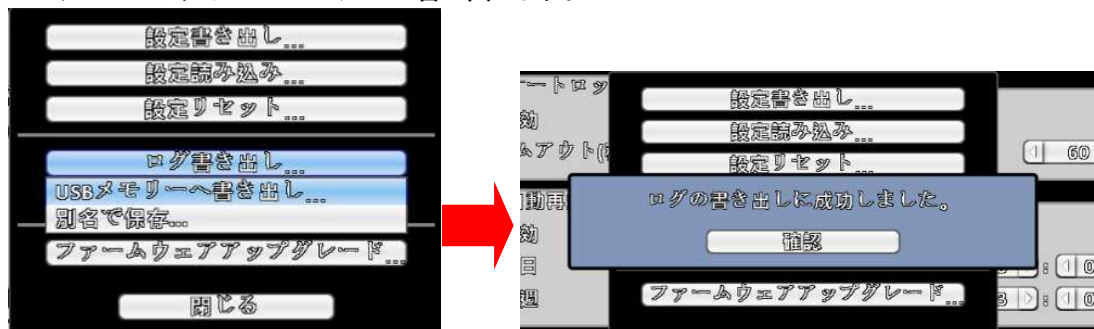
③設定リセット

DVRの設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。



④ログ書出し

システムログファイルをUSBやPCに書き出します。



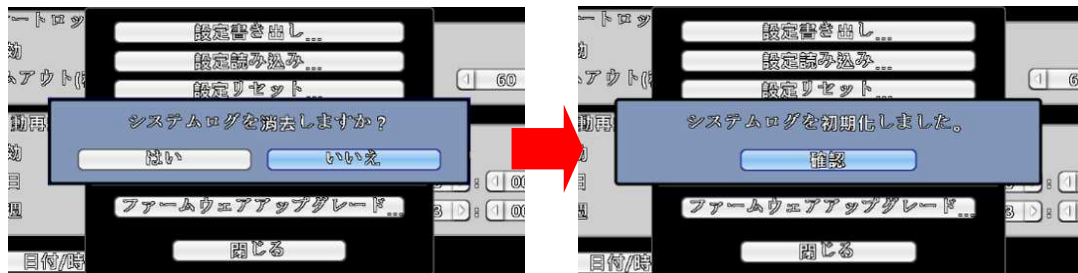
リモート操作からPCへ書き出しする場合は、別名で保存を選択します。

注意：ローカルでの操作は、USBメモリーのみとなります。

保存されたファイル名は、log.csv となります。Excel で見ることが出来ます。

⑤ログ消去

システムログファイルが消去されます。

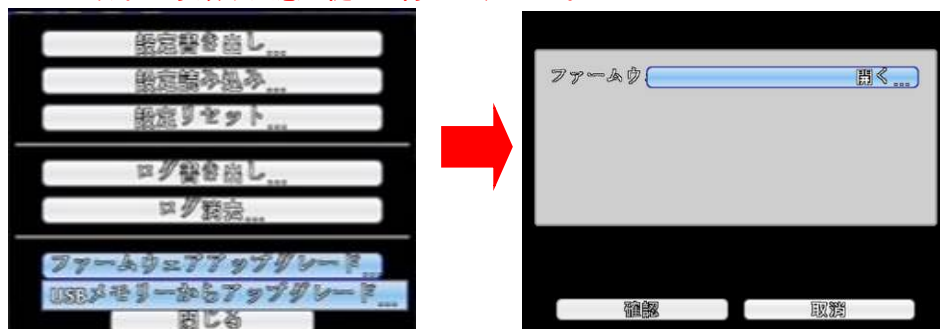


⑥ファームウェア アップグレード

USBメモリーからDVRのファームウェアをアップグレードします。

注意：アップグレードは販売店の許可なく行わないでください。故障の原因になります。

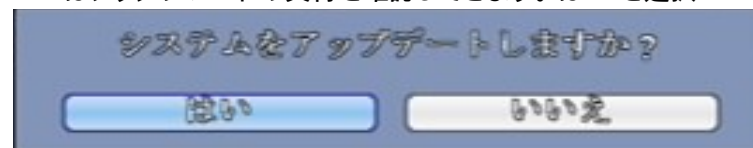
販売店からアップグレードの通知があり、かつ新ファームウェアを提供された場合のみ以下の手順や注意に従って行ってください。



新ファームウェアをUSBから選択します。



DVRはアップグレードの実行を確認してきます。”はい”を選択



アップグレードが進行します。



アップグレード完了後は、DVRは自動的に再起動を行います。

注意! アップグレード中に電源を切ったり、USBデバイスを外したりしないでください。アップグレードが中断されて、DVRにダメージを与えることになります。

4-2 イベント設定 アイコン



ビデオロスやモーション等のイベント設定とセンサーの通知方法を設定します。

4-2-1 ビデオロスの設定

設定⇒イベント設定⇒ビデオロス設定の画面

(チャンネル表示が無いチェックボックスを選択すると、全チャンネルが同じ設定になります。)



ビデオロス有効 / 無効：ビデオロス有効にチェックマークを入れると、ビデオロスイベントが有効になります。(デフォルト：有効)

有効にすると、ビデオロスが発生チャンネルの再生画面にビデオロスが表示されます。無効の場合は、再生時は黒画面となります。

ビデオロスイベントが発生した場合の設定内容です。

ログ	ビデオロスが発生した場合、システムログにイベントとして記録します
イベント録画	イベントが発生した場合に録画をするチャンネルを選択して下さい 録画の設定は "設定 → 録画設定 → イベント録画" を参照してください 4-3-1 録画設定/常時録画/イベント録画
全画面表示	ライブモードで、ビデオロスが検出された場合、そのチャンネルがフルスクリーンでポップアップされます
画面表示CH	イベントが発生した場合、設定チャンネルにポップアップします
ブザー	イベント発生時にブザーを鳴らします
リレー	イベント発生時にリレーを動作させます (外部機器と接続して使用)
PTZ	イベント発生チャンネルのPTZをコントロールモードにする
移動位置	イベント発生時にPTZカメラをプリセットポイントに動作させる
再開位置	イベント終了時にPTZカメラを特定のプリセット位置に動作させる

メール受信者設定は、4-2-5 メール受信者設定を参照ください。

4-2-2 モーション検知の設定

設定⇒イベント設定⇒モーション検知設定の画面



モーション検知 有効 / 無効：モーション検知有効にチェックマークを入れると、モーション検知が有効になります。（デフォルト：無効）

モーション検知を有効にすると、画面上の動きを検知して録画開始等のイベント設定が行えます。

4-2-3 センサーの設定

設定⇒イベント設定⇒センサーの設定画面



センサー 有効 / 無効：センサー有効にチェックマークを入れると、センサーが有効になります。（デフォルト：有効）

センサーを有効にすると、センサー入力をトリガーにして録画開始等のイベント設定が行えます。

極性	N.C（ノーマルクローズ）：センサーはトリガーになりません。 センサーはON 状態で接続されます。
	N.O（ノーマルオープン）：センサーはトリガーになります。 センサーは OFF 状態で接続されます。

※16chモデルは "8"センサー、4ch、8chモデルは "4"センサーが搭載されています。

※センサー名は、変更することが可能です。

イベント設定は、ビデオロスイベントと同様です。（4-2-1 ビデオロスの設定を参照ください。）

メール受信者設定は、4-2-5 メール受信者設定を参照ください。

4-2-4 システムイベントの設定

設定⇒イベント設定⇒システムの設定画面



システムイベントが発生すると、設定に従って、リレー、ブザー、そして受信者へ警告メール送信を行う設定が出来ます。ブザーボックスにチェックをしている場合、関連したエラーの間ブザーが鳴り続けます。(例えば、HDDに書込めない、HDDが組み込まれていない等)ブザーは他のシステムイベントでは鳴りません。(ログインやログアウトまたは再起動等。)メール受信者設定は、4-2-5 メール受信者設定を参照ください。

4-2-5 メール受信者の設定

イベント設定の各設定ページに、メール受信者設定があります。

イベント発生時に、DVRが指定されたユーザーへ電子メール通知を送る設定が出来ます。

設定⇒イベント設定⇒各項⇒メール受信者設定の画面



メール送信 有効 / 無効：有効にチェックマークを入れると、指定したユーザーへのメール送信が有効になります。(デフォルト：無効)

注意：ユーザーアカウントが作成されて、有効の場合のみユーザーの選択が出来ます。
メールアドレスの入力は、アカウント設定にて行います。(4 - 8 アカウント設定を参照ください。)

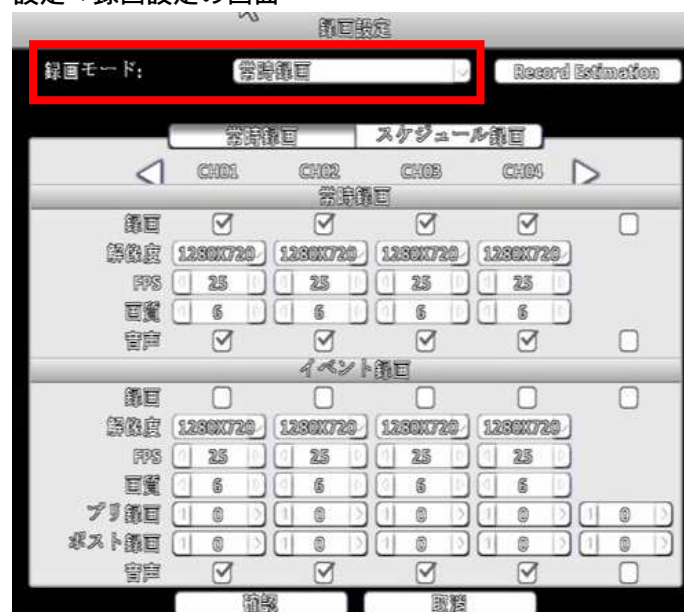
4-3 録画設定 アイコン



本機の録画設定では、最初に録画設定を“オフ” / “常時録画” / “スケジュール録画”から選択して、録画モードを決めてから、それぞれのモードの詳細はカメラ設定で設定します。

注意：メイン画面のみ設定しても、録画モードを決めないと反映されません。

設定⇒録画設定の画面



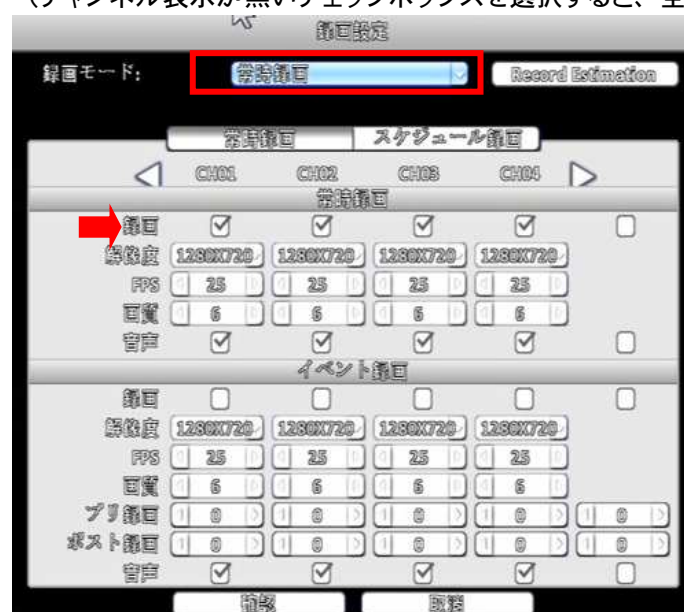
4-3-1 常時録画の設定

常時録画モードでは、完全常時録画とイベント録画の設定が行えます。

① 常時録画

設定⇒録画設定⇒常時録画モード⇒常時録画の設定画面

(チャンネル表示が無いチェックボックスを選択すると、全チャンネルが同じ設定になります。)



録画 有効 / 無効：有効にチェックマークを入れると、各チャンネルの録画が有効になります。

(デフォルト：有効 電源投入で録画が開始されます。)

カメラを未接続のチャンネルも録画を行います。カメラ未接続のチャンネルは無効にしてください

② イベント録画

モーションイベント等をトリガーに録画を開始する設定です。

設定⇒録画設定⇒常時録画⇒イベント録画の設定画面



4-3-2 スケジュール録画

スケジュール録画では、1週間単位の日にと時間で録画計画を構成します。A, B, C, D の4つのScheme設定（スキーム）が出来ます。異なる録画ニーズにより、異なる録画スキームを組合せて、日時マップにより録画予定タイムゾーンに入力して、独自の録画計画を作成します。

設定⇒録画設定⇒スケジュール録画の設定画面（設定例①）



この設定例は、スキームAの時間帯は常時録画、スキームBはモーション録画で設定しています。

各スキームの設定例

①スキーム 1 （表示A）

設定⇒録画設定⇒スケジュール録画⇒スキーム1 "A"の設定画面

	CH01	CH02	CH03	CH04
常時録画				
録画	☒	☒	☒	☒
音声	☒	☒	☒	☒
イベント録画				
録画	☐	☐	☐	☐
プリ録画	☐	☐	☐	☐
ポスト録画	☐	☐	☐	☐
音声	☐	☐	☐	☐
イベント検知				
モーション検知	☒	☒	☒	☒
センサー	☐	☐	☐	☐

スキーム1 "A"は、常時録画で設定しています。このスキームを平日（月～金）の8時～17時に設定しています。（設定例①参照）

② スキーム 2 （表示B）

	CH01	CH02	CH03	CH04
常時録画				
録画	☐	☐	☐	☐
音声	☐	☐	☐	☐
イベント録画				
録画	☒	☒	☒	☒
プリ録画	☒	☒	☒	☒
ポスト録画	☒	☒	☒	☒
音声	☒	☒	☒	☒
イベント検知				
モーション検知	☒	☒	☒	☒
センサー	☐	☐	☐	☐

スキーム2 "B"は、イベント録画で設定しています。

このスキームを平日（月～金）の18時～07時と土曜の終日に設定しています。（設定例①参照）

さらに日曜日は録画を停止しています。（設定例①参照）

最初に必要なスキームを設定して、計画表内の時間にスキームを挿入して設定します。

計画表内の時間枠をマウスでドラッグして、色が変わった時間帯にスキームボタンを押して挿入し

ます。挿入を間違えた場合は、"なし"ボタンで消去して、やり直してください。

モーションイベント等をトリガーに録画を開始する設定です。

設定⇒録画設定⇒常時録画⇒イベント録画の設定画面

モーション録画は、画面の動きある場合に録画を行うため、HDDの録画容量を節約できます。

録画	このチャンネルの録画の有効 / 無効
プリ録画	プリ録画時間の設定 0～5秒（イベント発生前の録画時間）
ポスト録画	ポスト録画時間の設定 0～100秒（イベント発生後の録画時間）
音声	設定チャンネルの音声録音のイベントによる有効 / 無効設定.

③祝日設定

スケジュール録画の場合で、祝日の録画を設定します。例えば、祝日も日曜日と同様な録画内容にする場合等に使用します。



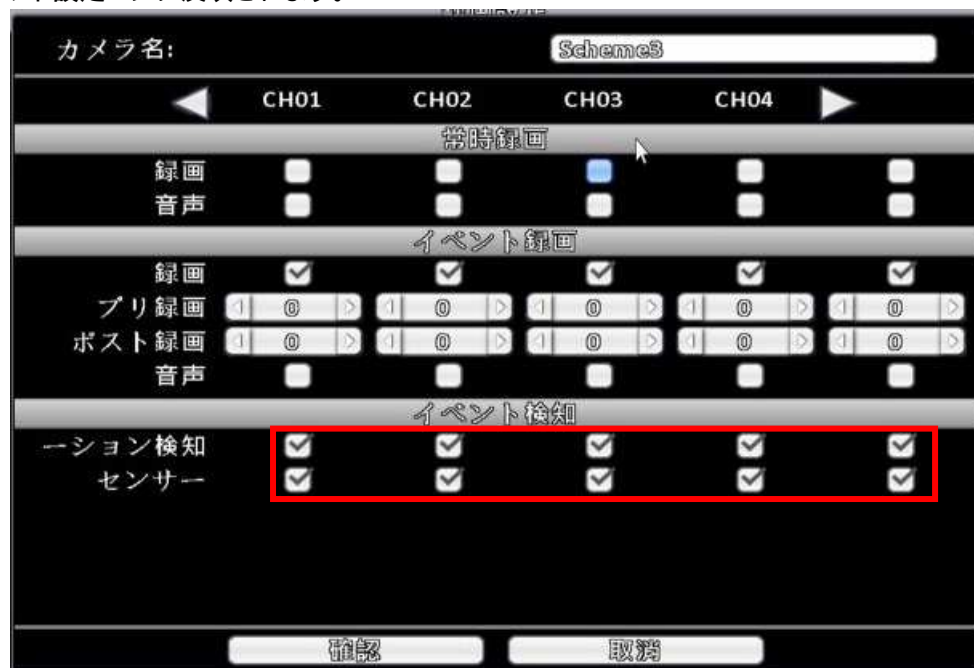
設定例（上図） 平日 スキームA：常時録画、日曜日・祝日 スキームB：モーション録画
（本例は、あらかじめスキームの設定が必要です。）

次に、祝日の設定を行います。祝日は年間50日まで設定が可能です。祝日設定を選択します。



祝日設定を選択すると、上図のようなカレンダーが表示されます。設定可能な祝日は1年間のみとなり、カレンダーの曜日は、仮として毎月同じになっていますので日にちで設定します。上図の例は、7月20日の海の日を祝日として設定しています。この日は祝日設定録画になります。
(ハッピーマンデー法による祝日は、毎年日にちが変わりますので、年初に設定変更が必要です。)

④各スキームのイベント設定は設定⇒イベント設定⇒モーション検知、センサーの設定画面のイベント設定ログに反映されます。



4-3-3 録画時間・容量計算

入力映像、HDDの状態から、何日録画するにはどれぐらいのHDDの容量が必要か、HDDの容量からどれぐらいの日数を録画できるかを計算します。

注意：録画時間・容量計算は録画目安を示すもので、日数、HDDの容量を保障するものではありません。使用環境や、H.264圧縮のための画像の動き量等により変化しますので、あくまでご参考としてください。

設定⇒録画設定⇒録画時間・容量計算⇒録画時間・容量計算の画面



録画時間・容量計算

チャンネル

CH	FPS	画質
01	30	4096 kbps
02	30	4096 kbps
03	30	4096 kbps
04	30	4096 kbps
05	30	4096 kbps
06	30	4096 kbps
07	30	4096 kbps
08	30	4096 kbps

HDD

HDD	容量
WDC WD30PURX-64P	2.7TB

録画時間・容量計算

録画目安を計算

録画日数 8.9 日

HDD容量 2.7TB

1024kb = 1Mb
1024Mb = 1Gb
1024Gb = 1Tb

チャンネル

カメラ設定⇒高度な設定で設定した数値が反映されます。されない場合は、更新を押してください。

画質は4096kbpsに手動で選択してください。



録画時間・容量計算

チャンネル

CH	FPS	画質
01	30	4096 kbps
02	30	4096 kbps
03	30	4096 kbps
04	30	4096 kbps
05	30	4096 kbps
06	30	4096 kbps
07	30	4096 kbps
08	30	4096 kbps

HDD

搭載されているHDDの情報が表示されます。



HDD

HDD	容量
WDC WD30PURX-64P	2.7TB

録画日数・容量計算⇒録画日数を計算

知りたい録画日数を入力すると、必要なHDDの容量が計算されます。

録画日数・容量計算⇒HDD容量を計算

HDDの容量を入力すると、録画できる日数が計算されます。

4-4 システム情報 アイコン



DVR : 型式、バージョン (ファームウェア)

ネットワーク : IP、MACアドレス

HDD : 型式、使用情報、SMART情報

設定⇒システム情報の画面

型式	ステータス	属性	空き容量/全容量
1 Maxtor 7L250S0	録画中	上書き可能	181.0GB/233.7GB

システム設定⇒システム情報⇒S.M.A.R.T情報の画面

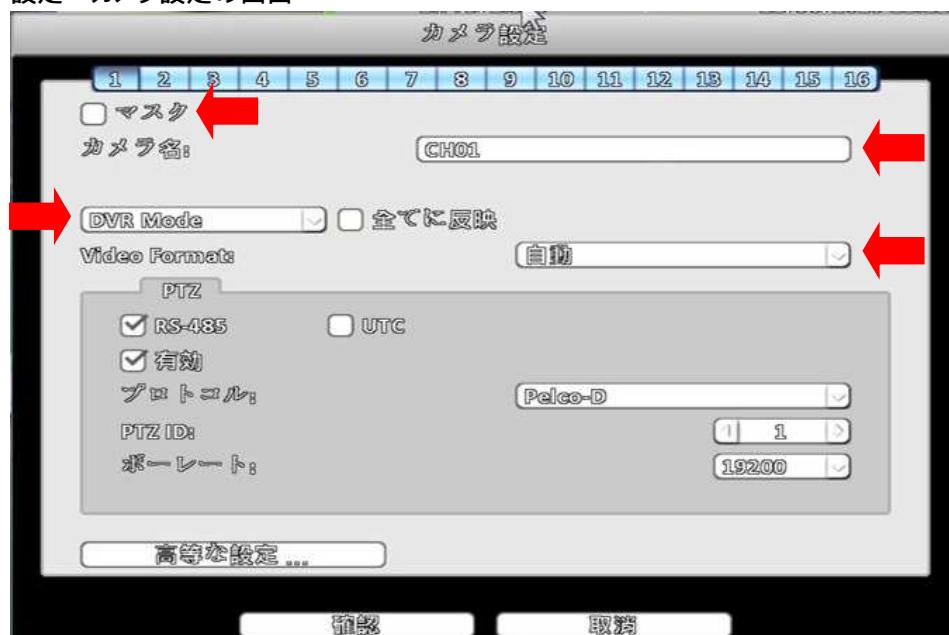


4-5 カメラ設定 アイコン



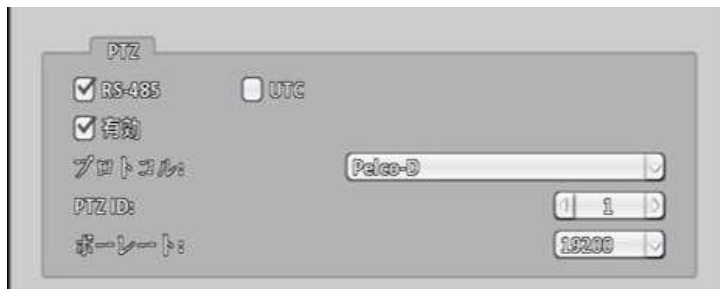
この設定では、カメラ名等のカメラ設定、PTZカメラの設定、高等な設定（録画モードの詳細設定）の3つの項目があります。

設定⇒カメラ設定の画面



マスク（ローカル）	チェックボックスをチェックすると ライブモードでのマスク機能が、有効となり画面が黒くなります PCからのリモートでは、マスクは動作しません
カメラ名	デフォルト CH01：名前を変更することが出来ます
DVR MODE	接続カメラの選択をします
Video Format	接続カメラの種類を選択します
高等な設定	録画画質、フレームレート等を設定します

4-5-1 PTZ設定



RS-485	UTC	接続方式のチェックボックスに✓を入れます
有効		チェックボックスにより PTZ機能の有効 / 無効が設定できます
プロトコル		PTZカメラの通信プロトコルを設定します
PTZ ID		PTZ IDの設定 0 ~ 255 (RS485 ID)
ボーレート		通信ボーレートの設定 2400, 4800, 9600, 19200bpsから選択

4-5-2 高等な設定 ①エンコーダー設定 アイコン



録画解像度は接続されたカメラにより、DVRが自動的に読み込みます。

メインストリーム	1画面、4画面再生、バックアップ時に設定が反映されます
サブストリーム	多画面再生時に設定が反映されます
解像度	録画解像度の選択
FPS	録画フレームレートの選択 1 ～ 15fps（4,8chモデル：1～30fps）
画質	録画画質 1 ～ 10 数値が大きいと画質は向上します
Rate Control	VBR（可変ビットレート）/CBR（固定ビットレート）選択
全てに反映	1台のカメラの設定を他のカメラに反映させます。

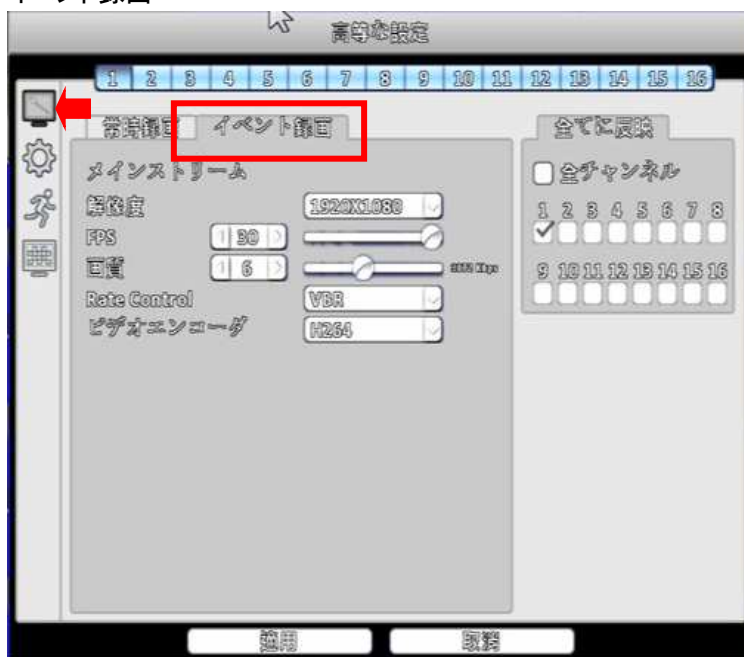
解像度が違うカメラが接続されている場合は、フレーム数と画質が反映されます。

サブストリームは多画面再生時に必要ですので、必ず設定してください。

設定可能 録画解像度（映像方式は 4 -1 システム設定参照）

映像方式	録画解像度	
1920H	960 x 1080	640 x 360
1280H	1280 x 720	640 x 360
NTSC (960H)	944 x 480	480 x 240

イベント録画



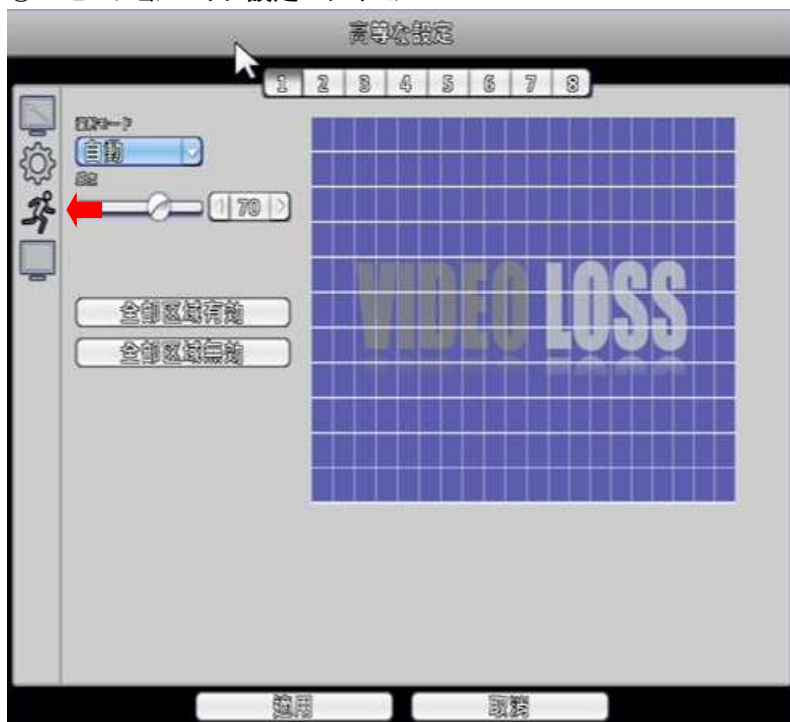
イベント録画の解像度とフレームレート、画質を設定します。

③ イメージ設定 アイコン



各チャンネルごとに（シャープネス・コントラスト・ブライトネス等）と映像信号の調整が行えます。

③ モーションエリア設定 アイコン



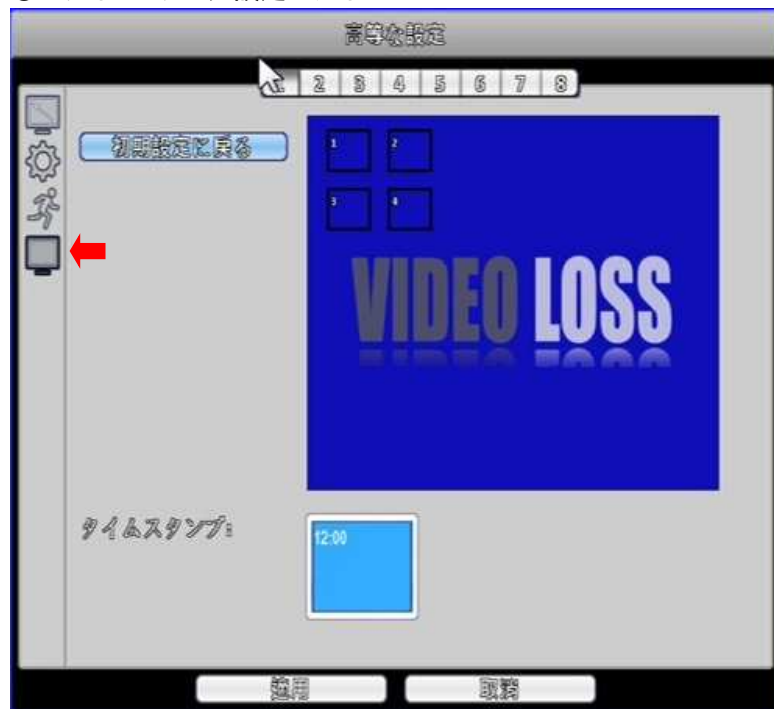
動作検出エリアの設定

設定したいチャンネルの領域設定を選択します。

動作検出エリアは、20 x 11の格子で分けられています。デフォルトのエリアは全画面です。

有効なエリアは透明になり、無効のエリアはグレイで表示されます。

④ タイムスタンプ設定 アイコン



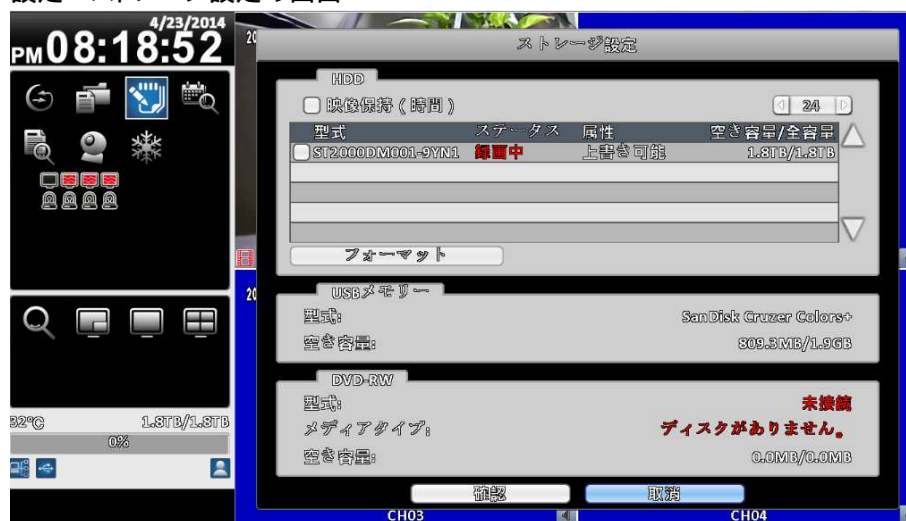
ブルー画面をクリックすると時間表示の位置が設定できます。
タイムスタンプの位置は再生画での位置調整となります。

4-6 ストレージ設定 アイコン



搭載のHDDやバックアップストレージを接続すると、それらの情報を見ることが出来ます。

設定⇒ストレージ設定の画面



映像保持(時間)	映像の保存期間の設定です。録画映像は保存期間満了により自動的に消去されます
型式	HDDモデル名が表示されます
ステータス	HDD状態が表示されます(Recording / Error)
属性	HDDの属性が表示されます(上書き可能/書込み/読み出し専用)
空き容量/全容量	HDDの空き容量が表示されます
フォーマット	"フォーマット"をクリックすると4 つのHDD設定が表示されます。 HDDフォーマットを開始します。ステータスバーに "successful" HDD 初期化成功が表示されます。メニューからハードディスクの全ての情 報を見ることが出来ます。(モデル、容量)
上書き可能	ハードディスクが一杯になると、上書きモードに入ります
書き込み可能	ハードディスクが一杯になると、書き込みを終了します
読み出し専用	Read-onlyに設定すると、読み出しのみで書き込みは出来ません
USBメモリー	接続時に型式、空き容量が表示されます
DVD-RW	-

4 -7 ネットワーク設定 アイコン



DHCP : 有効/無効

LAN : 有効/無効、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS

PPPoE : ユーザー、パスワード

3G : 電話番号、PIN、APN、ユーザー、パスワード

HTTP : ポート、Apply Key

DDNS : サーバー、ホスト、ユーザー、パスワード (添付CDを参照願います)

NTP : 時間自動補正サーバー設定

メール設定 : SMTPサーバー、ユーザー、パスワード、送信元メールアドレス

FTP : サーバー、ユーザー、パスワード、ディレクトリ

ICPM : ICPM Enable

UPNP : 有効/無効、モード

設定⇒ネットワーク設定の画面

The screenshot shows the 'ネットワーク設定' (Network Settings) window. At the top, there's a 'バンド幅制限' (Bandwidth Limit) section with a value of '8' and units 'Mbps'. Below it is the 'Virtual Network Interface' section. The 'DHCP' option is selected, and the '有効' (Enabled) checkbox is checked. The IP address is set to '0.0.0.0'. The 'HTTP' section is also visible, with the '有効' (Enabled) checkbox unchecked, a port of '80', and a 'リセットメンテナンス' (Reset Maintenance) checkbox checked. There is an '適用' (Apply) button at the bottom right.

4-7-1 DHCPの設定

DHCPを選択された場合、IPアドレスは、DHCPサーバーにより自動的に振り分けられます。

DHCPのチェックボックスにチェックを入れて有効にしてください。

振り分けられた IPアドレスは、システム情報のネットワーク情報で確認が出来ます。

4-7-2 固定IPの設定

固定IPでは、静的IPアドレスを入力して設定します。

設定⇒ネットワーク設定⇒固定IPの設定画面

The screenshot shows the 'ネットワーク設定' (Network Settings) window with the '固定IP' (Fixed IP) option selected. The '有効' (Enabled) checkbox is checked. The IP address is set to '192.168.1.120', the subnet mask to '255.255.255.0', the gateway to '192.168.1.1', and the DNS to '8.8.8.8'. There is an '適用' (Apply) button at the bottom right.

固定IPのチェックボックスを有効にし、必要項目を入力してください。

(デフォルトIP 192.168.1.120)

IPカメラを接続する場合は、Virtual Network Interfaceのチェックボックスにチェックを入れてください。

注意： DNSをご使用の場合は、Virtual Network Interfaceのチェックボックスのチェックを外してください。(IPカメラのサーチは機能しません。)

4-7-3 PPPoEの設定

設定⇒ネットワーク設定⇒PPPoEの設定画面

PPPoEのチェックボックスを有効にして、必要項目を入力してください。

ユーザー名とパスワードは、プロバイダー等と契約した内容を入力してください。

4-7-4 3 G接続の設定

USBの 3G接続治具を使用して、ネットワークにアクセスします。

注意： 特定の 3G接続治具のみサポートしています。 3Gのダイヤルアップ機能は、一部のプロバイダーに互換性が無い場合があります。

設定⇒ネットワーク設定⇒3 Gの設定画面

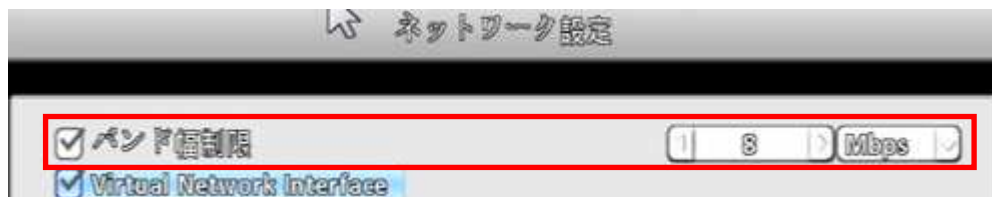
3Gのチェックボックスを有効にして、必要項目を入力してください。

3 G設定の入力内容

電話番号	プロバイダーからのダイヤルアップ番号を入力してください
PIN	SIM カードのパスワードを入力して下さい
APN	“インターネット” またはプロバイダー指定を入力して下さい
ユーザー	プロバイダーのユーザー名を入力して下さい
パスワード	プロバイダーのパスワードを入力してください。

4-7-5 バンド幅制限（帯域制限）

ネットワークに本機がアップロードする、帯域幅を設定します。（デフォルト：8Mbps）



帯域制限調整値：範囲 1～9999

帯域制限単位：Kbps, Mbps

帯域幅の設定は、ご使用のネットワーク環境やDVRの設定（録画フレームレート、解像度）等により、適正な数値が変化します。リモート操作の画像を見ながら設定することを推奨します。

帯域制限数値があまりにも小さい場合は、リモートアクセスのユーザー数に影響が出てきます。

4-7-6 HTTPの設定

設定⇒ネットワーク設定⇒HTTPの設定画面



HTTPのチェックボックスを有効にします。（デフォルトは有効です。）

HTTP機能が有効であれば、ユーザーはネットワークからDVRにアクセスできます。

ポート：ポートを入力してください。 1 ～ 65535（デフォルトは 80）

4-7-7 DDNSの設定

（i-dvr.net での接続は、1 4 . DDNSサーバーへの登録を参照ください。）

設定⇒ネットワーク設定⇒DDNSの設定画面



DDNSのチェックボックスを有効にして、必要項目を入力してください。

サーバーを選択します。（i-dvr.net を選択してください。）

ホスト名が自動的に割り振られます。（ホスト名は、お客様自身でドメイン名として再入力します。）

サーバー	登録された DDNSサーバーを入力してください。 ez- dns.com、 i-dvr.net、 dyndns.org ez- dns.com、 i-dvr.net は、 DDNSの自動割り当てをサポートしています。 この2つの DDNS サーバーの場合、システムは自動的に C + DVR Mac Address の末尾6ケタでホストサイトから割り当てられます。 このように Macの末尾6ケタが FD5CCDでホストサイトから割り当ては、CFD5CCD.i-dvr.net または CFD5CCD.ez-dns.comとなります。
ホスト	フルDDNSアドレスを入力してください。(ユーザー名 + サーバー名) ユーザー名が h.264の場合、で i-dvr サーバーの時、ホスト名は h.264.i-dvr.netとなります。
ユーザー	ユーザー名を入力してください(付属のCDケースに記載されています)
パスワード	パスワードを入力してください(付属のCDケースに記載されています)

i-dvr.net への登録は、1 4 . DDNSサーバーへの登録 を参照ください。

注意：DDNS接続の完了には、DVR設置環境下のルーターの設定が必要です。DDNSサーバーの登録が完了しても、ルーターの設定が成功しないと接続できません。

4-7-8 NTPの設定

ネットワーク上のタイムサーバーと同期して、DVRの時間を補正する機能です。

設定⇒ネットワーク設定⇒NTPの設定画面

自動で同期するのチェックボックスを有効にして、必要項目を入力してください。

更新間隔 (時)	時間同期を取る間隔を設定します (24時間で1日に1回)
サーバー	タイムサーバーのアドレスを設定します
アップグレード	クリックすると NTPサーバーと同期を取ります

DVRには、内部時計の機能がありますが、水晶発振のため多少の遅れが出ます。

長期に渡り修正をしない場合、蓄積した遅れが大きくなります。

NTP同期機能を使用すると遅れの無い運用が可能です。

4-7-9 メール設定

イベント等の通知に、DVRからメールを送信するための機能です。

設定⇒ネットワーク設定⇒メール設定の画面



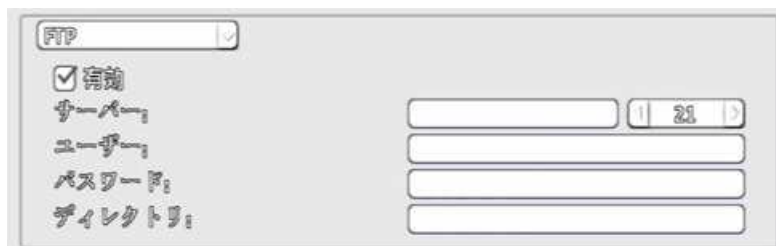
チェックボックスを有効にして、必要項目を入力してください。

メールを送信するには、DVRがネットワークへ接続されている必要があります。

SMTPサーバー	SMTPサーバー名とポート番号
ユーザー	ユーザー名を入力してください
パスワード	パスワードを入力してください
送信元メールアドレス	送付先の e-mailアドレスを設定してください

4-7-10 FTPの設定

設定⇒ネットワーク設定⇒FTP設定の画面



チェックボックスを有効にして、必要項目を入力してください。

サーバー	FTPサーバー名とポート番号の設定
ユーザー	ユーザー名を入力してください
パスワード	パスワードを入力してください
ディレクトリ	FTPディレクトリパスのアップロード

4-7-11 ICMPのテスト

設定⇒ネットワーク設定⇒ICMPの画面



チェックボックスを有効にして、テストを押してしてください。



確認したい端末のIP等を入力、Startを押すと接続状況が確認できます。

4-8 アカウント設定 アイコン



Admin : パスワード、E-メール

User : 1~10 設定、パスワード、E-メール、許可内容設定（録画装置再生、遠隔ライブ&再生、コンソール、リモート）

本機では、管理者アカウントの“admin”がデフォルトで設定されています。
その他のユーザーアカウントを10アカウント作成することが出来、それぞれのアカウントの権限や許可内容を個別に設定することが出来ます。受信用メールアドレスを入力できます。

4-8-1 Admin 管理者アカウント

設定⇒アカウント設定⇒adminの画面



“admin”は、管理者アカウントとしてプリインストールされており、すべての権限と許可を持っています。また、アカウント名の変更や期限の設定が出来ません。さらに無効とすることも出来ない、万能のアカウントとなります。

但し、パスワードの変更は可能です。デフォルトパスワードは“123456”で設定されており、パスワードを変更される場合は、変更後のパスワードを大切に保管してください。

注意：変更されたパスワードは、問い合わせをいただいても弊社では回答できません。

4-8-2 ユーザーアカウント

ユーザーアカウントは下図の画面で設定します。1～10のタブにより10アカウント設定できます。
設定⇒アカウント設定⇒ユーザー1の設定画面



ユーザー1 を有効にして、必要項目と許可項目を入力します。

メールアドレスを入力すると、イベント発生時にメール送信が設定できます。(イベント設定参照)
ユーザーアカウントの有効期限 (ユーザーに期限を設定することが出来ます。)



期限切れのチェックボックスを有効にして、日付をクリックするとカレンダーが表示されます。

期限切れとなる、年月日を選択してください。

ユーザー名とパスワードをソフトウェアキーボードから入力します。



ユーザー1 アカウントの許可内容を設定します。



録画装置再生	ローカルでの、各チャンネル画像再生の許可
遠隔ライブ & 再生	リモートでの、各チャンネルのライブ閲覧、画像再生の許可
コンソール (本体の操作)	ローカルの許可の場合は、コンソールをチェックしてください (ライブ、再生、バックアップ、設定、システム情報、 PTZ)
リモート (遠隔PC等の操作)	リモートの許可の場合は、リモートをチェックしてください (ライブ、再生、バックアップ、設定、システム情報、PTZ)

※ それぞれ許可をする場合には、必ず上記赤枠のコンソールとリモートにチェックしてください。
チェックが無い場合は許可されません。

4-9 その他の設定

4-9-1 ポップアップ設定

本設定はショートカットツールバーから設定します。

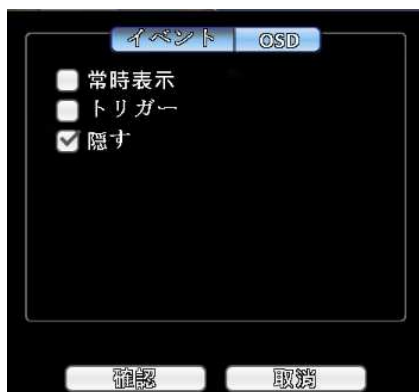


ポップアップ設定では、画面に表示する内容を選択します。



“OSD”

- ①時計表示：画面右上の時間表示のON/OFF設定
- ②HDD状態表示：画面上のHDDの使用状況表示のON/OFF設定
- ③チャンネル情報：各チャンネルのカメラ名表示のON/OFF設定
- ④ボーダー：各チャンネルを仕切るボーダーラインの有無の設定
- ⑤IPCam情報：



“イベント” (4:3モードのみ有効、チャンネル情報の表示)

- ①常時表示：画面中央下部にチャンネル情報を常時表示されます。
- ②トリガー：イベント発生時やマウスを画面中央下部に移動させると、チャンネル情報が一時的に表示されます。
- ③隠す：チャンネル情報は、表示されません。
(①～③のひとつのみ選択できます。)

4-9-2 リレーの設定

本設定はショートカットツールバーから設定します。



リレー出力の設定を行います。(DVRが他の機器へ出力するリレーの設定)



イベント発生時に他の機器へ出力するリレーの設定です。

- ON : 手動でONにします。接続機器を動作させる。
- OFF : 手動でOFFにします。接続機器の動作を停止させる。
- 自動：イベント発生でON/OFFが自動に切替わります。

4-2 イベント設定参照、リレーを設定してください。

5 . 再生

本機の再生機能は、日付検索による再生が基本です。その他システムログからの再生と4 : 3モードでのご使用に限り、直接再生の機能がございます。

5-1 日付検索による再生 アイコン



5-1-1 日付検索方法

日付検索アイコンを選択すると下記の検索画面が表示されます。



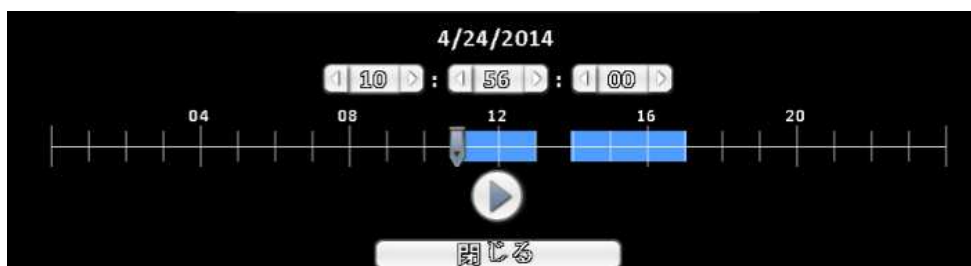
録画データが記録されている日は、カレンダー上で青く表示されます。(4月22日～24日)

再生したい日付を選択します。

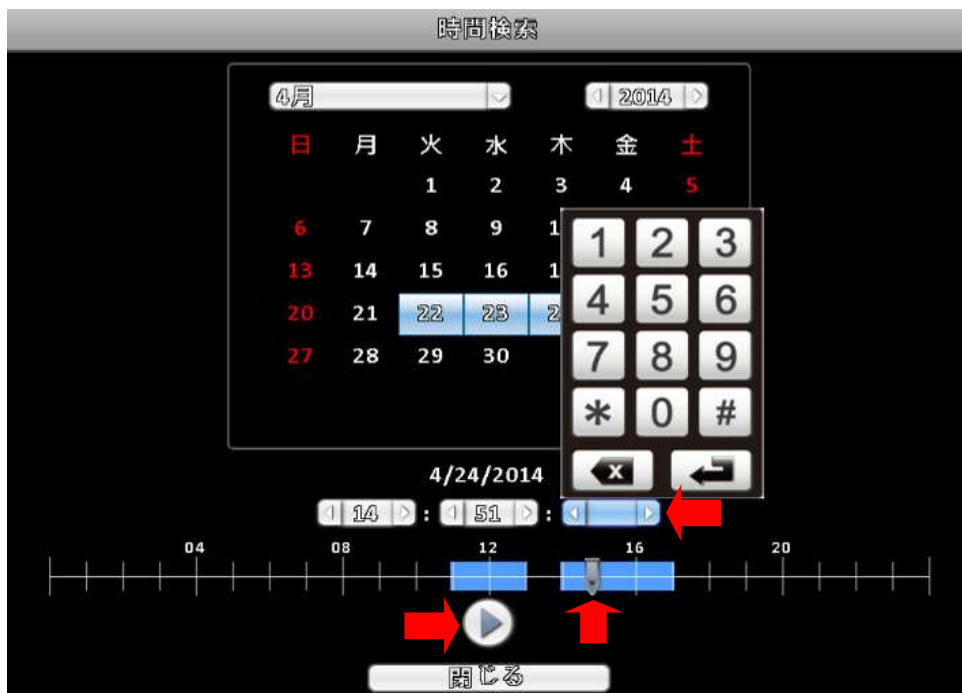
年は西暦表示タブで選択してください。月は下図のようにプルダウンから選択できます。



日付を選択すると、データがある時間単がタイムバーに青色で表示されます。



次に、再生する時間を選択します。



マウスでタイムバーの針をドラッグすると簡単に選択時間を変えられます。
 詳細な時間は、時間タブにソフトウェアキーボードから直接入力出来ます。

再生時間を決めて、再生ボタン  を選択すると再生画開始されます。

5-1-2 再生画面の操作方法 (16:9 モード)

再生画開始されると以下の画面になります。画面内のスタンプ時間が再生映像の時間です。



タイムバーは、画面下部に表示されマウスのドラッグで再生時間の変更をダイレクトに行えます。

画面分割の切換えは、ライブ操作と同様です。(3-1-2 ライブモードのアイコン説明参照)

デジタルズームの操作は、1 1 . デジタルズームを参照ください。

早送り/巻戻し/一時停



止等のビデオ操作

- ①再生ボタン：通常再生の再開
- ②早送り：4 倍, 8 倍, 16 倍, 32 倍再生

③巻戻し：4 倍, 8 倍, 16 倍, 32 倍巻き戻し

④一時停止：再生画の一時停止

⑤スロー再生：1/2, 1/4, 1/8 スロー再生

⑥コマ送り：クリックするとコマ送ります。

⑦再生モード終了：再生を終了⇒前の画面に戻ります。

注意：H.264 方式の為、巻戻しがスムーズでない場合もございます。

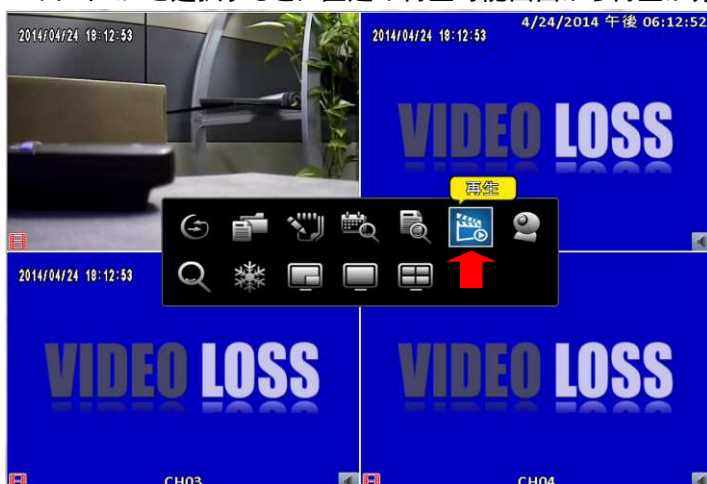
再生をやめる場合は、⑦を選択してください。

5-2 再生（直接再生 4：3 モードのみ）アイコン



4：3 モードでご使用の場合、直接再生のアイコンが表示されます。

このアイコンを選択すると、直近の再生可能画面から再生が始まります。



再生画面の操作方法 4:3 モード

この操作での再生画面は以下のようになります。



操作ボタンは、16：9 モードと同様です。

5-1-2 参照いただきボタンマークと機能をご確認ください。

再生を終了するときは  選択してください。

タイムバーは、16:9 同様に画面下部に表示されマウスのドラッグで再生時間の変更を行えます。画面右上がシステムの現在の時間です。操作ボタンはマウスが動くと画面左下に表示されます。

デジタルズームの操作は、11 . デジタルズームを参照ください。

ログ再生については、8 . システムログを参照ください。

5-3 リモコンによる再生画面操作

PLAY ボタンで直接再生が出来ます。ログアウト状態ではパスワードの入力が必要です。

ボタン	概 要
MENU / 	PAUSEのON/OFF
PLAY	再生開始と再生再開
▲ / SLOW	スロー再生:再生速度は1/2, 1/4, 1/8 になります
◀◀ / ◀	倍速再生：1度押すと次のレベルの速度に変わります。5段階の再生速度があり、2x, 4X, 8X, 16x, 32X があります
▶▶ / ▶	倍速巻戻し：1度押すと次のレベルの速度に変わります。5段階の巻戻し速度があり、2x, 4X, 8X, 16x, 32X があります
▼ / 	再生終了

リモコンのボタンは、1-2 各部の名称と機能を参照ください。

6 . バックアップ アイコン

本機では、録画した映像を USB メモリーや USB DVD 等の USB ストレージにバックアップをすることが出来ます。また、リモート接続により、ご使用の PC にもバックアップをすることが出来ます。

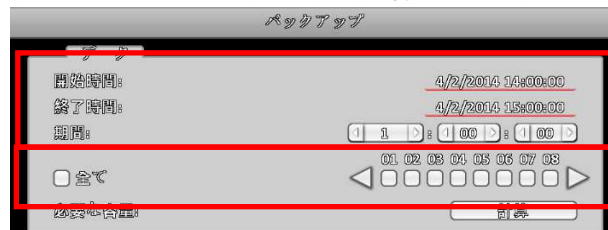
6 -1 USB デバイスへのバックアップ (USB メモリー)

バックアップアイコンを選択すると下図のような、バックアップメニューが表示されます。



フロントパネルの USB①に、USB メモリーを挿入して下さい。(事前に挿入しても OK です。) 未接続から準備完了に変わります。

データタブ内のバックアップ内容を決めます。



バックアップ内容は左赤枠の 2 つの項目について設定します。

内容①：開始時間と終了時間
(開始時間と期間)

内容②：バックアップするカメラ
チャンネル

手順①バックアップをとる期間の設定開始時間を設定します。

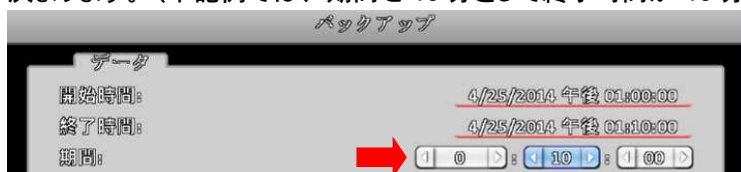
開始時間の時間表示を選択すると、左図のようにカレンダーが表示されます。

カレンダーで日付を決めて、下部の時間枠で開始時間を決めます。(時間検索再生と同じ要領です。)

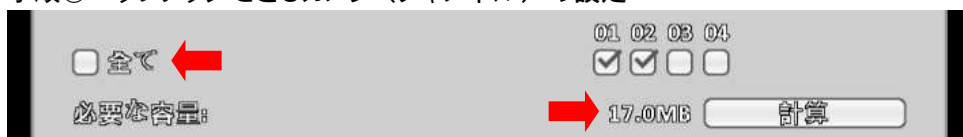
決定後  を選択してください。



開始時間決定後、同様に終了時間を決定するか、または期間を設定すると自動的に終了時間が決まります。（下記例では、期間を 10 分として終了時間が 10 分後になっています。）



手順②バックアップをとるカメラ（チャンネル）の設定

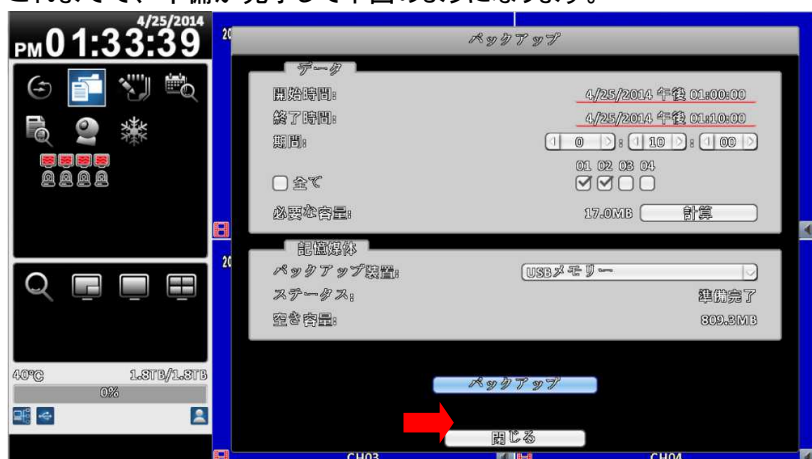


“全て”を選択すると、全チャンネルにチェックマークが付きます。特定チャンネルをバックアップする場合は、個別にチェックマークを入れてください。

チャンネル設定完了後、計算ボタンを選択すると必要な容量が表示されます。（例 17.0MB）

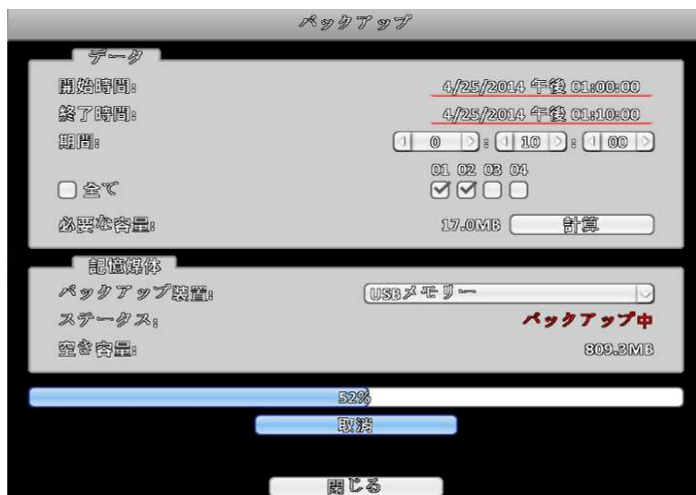
手順③バックアップ開始

これまでで、準備が完了して下図のようになります。

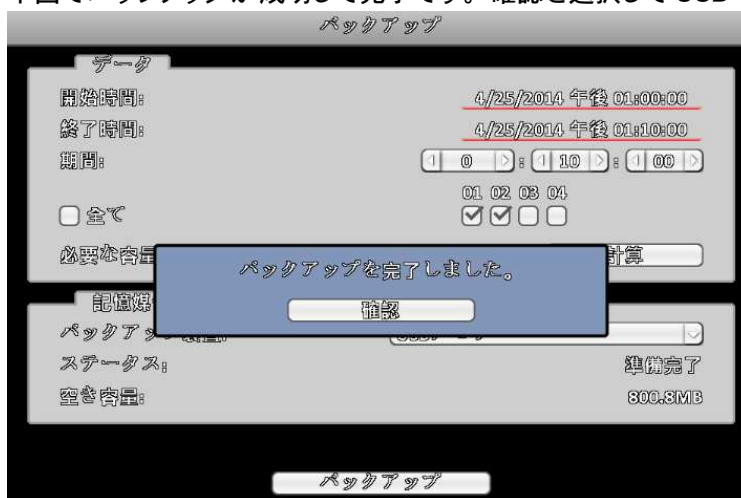


バックアップボタンの選択でバックアップが開始されます。

バックアップ中画面 容量によりバックアップにかかる時間は変わります。



下図でバックアップが成功して完了です。確認を選択してUSBをそのまま抜いてください。



注意：バックアップ中に、USBデバイスを外したり、DVRの電源を落としたりしないでください。戻せないエラーが発生します。

6-2 スナップショットの作成

本機では動画バックアップの他、USBメモリーまたは、リモート接続のPCに、静止画のスナップショットを作成することが出来ます。

スナップショットは、ショートカットツールバーからの作成になります。

3-1-1 ショートカットツールバーを参照ください。

スナップショットでは、マウスで下図のカメラマークをクリックすることで作成が出来ます。

* USBメモリーでは.JPGファイル、リモート接続では.PNGファイルになります。



注意：ローカルでのスナップショットの作成は、必ず事前にUSBメモリーを本機USB①へ挿入してから行ってください。また、クリック後15秒間はUSBメモリーを抜かないでください。

6-3 リモート接続でのバックアップ (1 2 . リモート操作を参照ください。)

本機では、LAN やインターネットで接続した PC から本体映像のバックアップやスナップショットを作成することが出来ます。(接続権限の許可が必要です。4-8 アカウント設定参照)

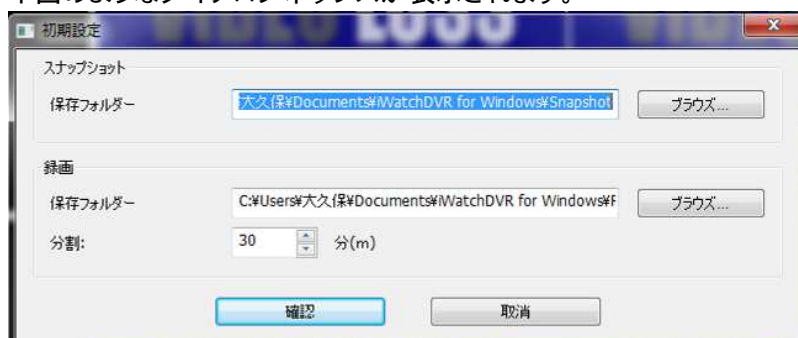
(初期設定)

リモートバックアップとスナップショットを保存する PC 内のフォルダーを設定します。

リモート接続状態で、ショートカットツールバーの初期設定をクリックします。



下図のようなダイアログボックスが表示されます。



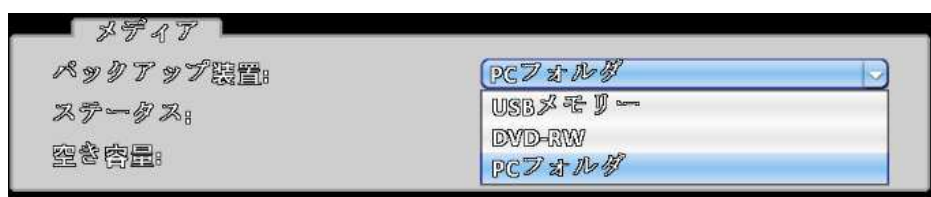
スナップショットは”iWatchDVR for Windows”の”Snapshot”フォルダーを、録画は”iWatchDVR for Windows”の”Record”フォルダーと、分割時間を設定して確認を押します。

(スナップショットのバックアップ操作)

ローカルと同じ操作をします。

(録画のバックアップ操作)

まずは、“バックアップ”の“メディア”のタブで PC フォルダを選択して、上記の録画の保存フォルダーで指定した”iWatchDVR for Windows”の”Record”フォルダーを選択してします。



あとは、ローカルと同じ操作をします。

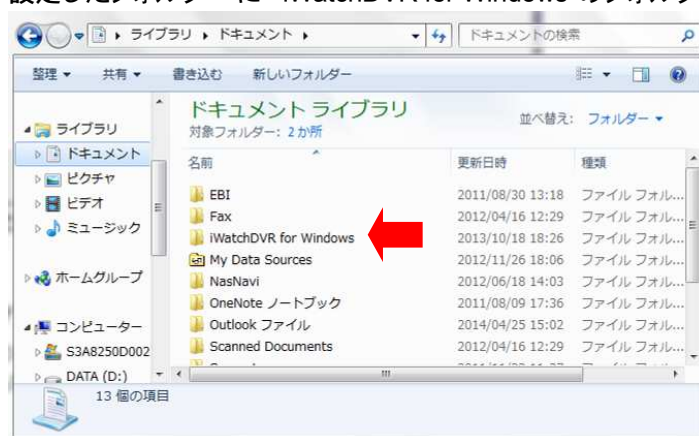
6-4 バックアップファイルの再生

バックアップをした、USB メモリーまたは、リモートバックアップのフォルダーから録画映像を再生します。

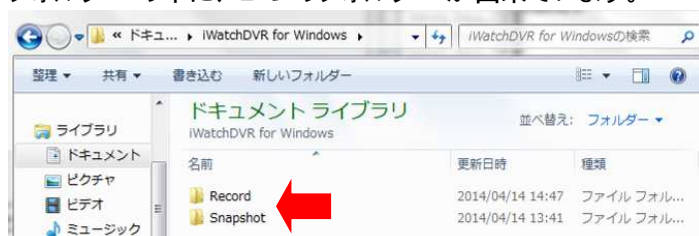
(USB メモリーの場合)

フォルダーがなくダイレクトにファイルが出来上がります。

(リモートフォルダーの場合 (Windows7))
 設定したフォルダーに "iWatchDVR for Windows"のフォルダーが出来ています。

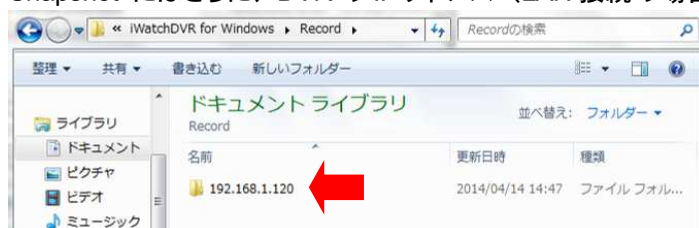


フォルダーの中に、2つのフォルダーが出来ています。



Record : 動画 (バックアップ)
 Snapshot : 静止画

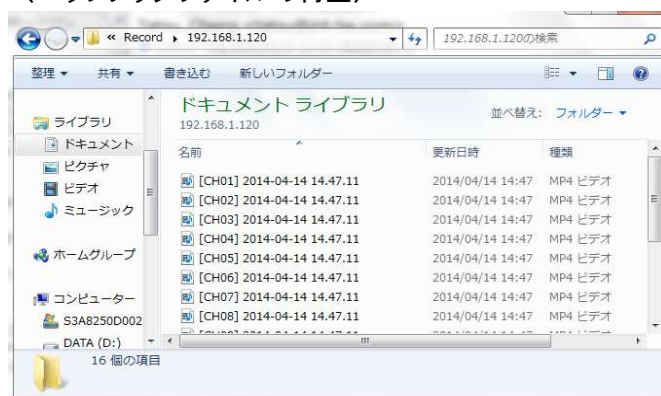
Snapshot にはさらに、DVR の IP アドレス (LAN 接続の場合) のフォルダーが出来ています。



これらのフォルダーを開くと、それぞれのファイルが出来ています。

(以降は、USB メモリーの場合と同様になります。)

(バックアップファイルの再生)



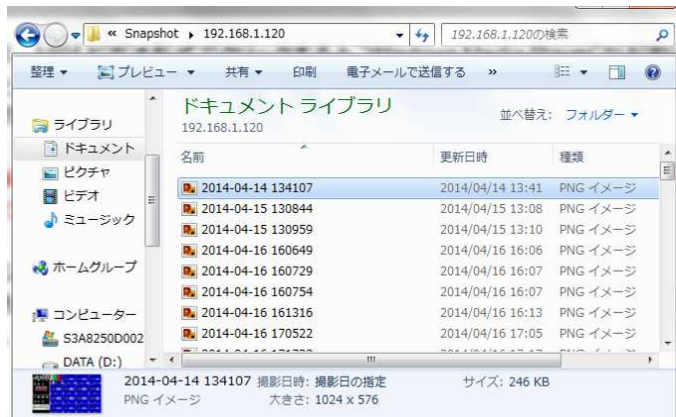
フォルダー内には、チャンネルごとのビデオファイルが作られています。
 ビデオファイルは、MP4ビデオ形式でクリックすると "Windows Media Player" が起動して、再生画を見ることが出来ます。音声は録音されている場合は、PC のスピーカーを有効に

すると、音声も聞こえます。（音声はローカルより小さくなります。）

注意：PCは、Windows10に対応しています。Windows7,8の場合は、H.265コーデックのPlayer をダウンロードしてください。

（スナップショットを見る）

フォルダー内には、スナップショットのファイルが作られています。



ファイル形式は、PNG イメージで、クリックすると”Windows フォトビューア”が起動して、静止画を見ることが出来ます。

*** スナップショットはライブでも再生画でも、多チャンネルでも単画面でも保存が可能です。**



1 6 : 3 16ch 多画面ライブ

1 6 : 3 単一チャンネル 再生画

7. オートシーケンス アイコン



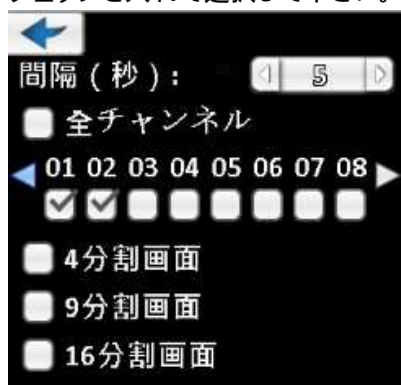
選択したチャンネルを一定間隔の自動切替えて 1ch ずつモニターに表示します。



オートシーケンスのアイコンを選択すると、設定メニューが表示されます。



チェックを入れて選択して下さい。



間隔 (秒)	各チャンネルの表示時間を設定します
全チャンネル	DVRは、自動的に各チャンネルを1画面毎に設定した間隔で表示します
4分割画面	DVRは、自動的に接続されたカメラ映像を4分割表示で、設定した間隔で表示します
9分割画面	DVRは、自動的に接続されたカメラ映像を9分割表示で、設定した間隔で表示します
16 分割画面	DVRは、自動的に接続されたカメラ映像を16分割表示で、設定した間隔で表示します

動作終了後は  を選択して下さい。

例：上のメニュー設定終了後、1chと2chが交互に5秒間隔で映像が表示されます。

分割表示をさせる場合は、カメラを選択しないでください。

注意：カメラを選択すると、分割表示は1ch切換え終了後に表示されます。

16chモデルをご使用の場合で、4分割シーケンス後に16ch分割を表示させる場合は、4分割と16分割の両方にチェックを入れて下さい。

16chモデルで16分割のみを選択した場合、画面は切替わりません。

8. システムログ アイコン



DVRは、自動的にイベントをシステムログとして記録します。システムログリストでは、ビデオロスやモーション等の映像イベントやログイン・電源オンのようなシステムイベントなどがあり、リストとして表示します。映像イベントでは、システムログリストからの再生も行うことが出来、イベント発生時の画像確認も容易に行えます。

また、システムログはUSBメモリーやリモート接続のPCに記録することも出来ます。

8-1 システムログリストの表示

システムログのアイコンを選択すると、システムログリスト画面が表示されます。



システムログリストの見方



検索基準設定	イベント検索の条件を設定します
	スライドするとイベントリストのページを選択できます。右側の数値がページナンバーになります
	左右の矢印をクリックすると、直接ページナンバーを選択することができます。
	イベントリストをリフレッシュします

8-2 イベント再生

システムログリスト内で、項目の左側に "▶" マークがあるイベントは、リストの行をマウス

でクリックすることで、イベント再生が行えます。



再生後の操作は、5. 再生を参照ください。

注意: HDDがインストールされていない場合や録画を開始していない場合でも、DVRはイベントリストを作成します。但し、このような場合はイベントリストをクリックしても画像再生は出来ません。

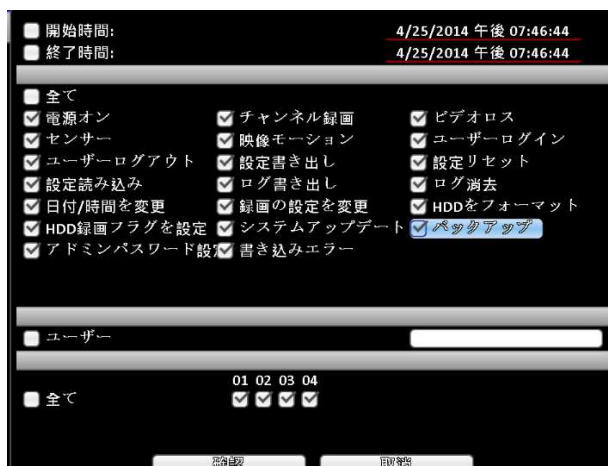
8-3 検索基準設定

検索基準設定では、システムログリストに表示させるイベント内容を選択します。

検索基準設定ボタンを選択してください。



下図のような検索基準設定画面が表示されます。



システムログリストの検索時間範囲の設定

DVRを長期に渡りご使用されると、ログが数千以上残ります。必要な期間だけのログを知りたい場合は検索時間範囲を設定して検索します。

☐ 開始時間:	4/25/2014 午後 07:46:44
☐ 終了時間:	4/25/2014 午後 07:46:44

開始時間と終了時間のチェックボックスにチェックして、それぞれの時間を設定します。
時間の設定方法は、バックアップの時間設定と同様です。

6 - 1 USBデバイスへのバックアップ参照ください。)

同様にログを知りたいユーザーとチャンネルも設定できます。

☐ ユーザー	
☐ 全て	01 02 03 04 ☒ ☒ ☒ ☒

それぞれ必要項目のチェックボックスにチェックを入れて、設定して下さい。

注意：admin 以外のユーザーは、アカウントの作成が必要です。

(4-8-2 ユーザーアカウントを参照ください。)

イベント内容の設定

☐ 全て		
☒ 電源オン	☒ チャンネル録画	☒ ビデオロス
☒ センサー	☒ 映像モーション	☒ ユーザーログイン
☒ ユーザーログアウト	☒ 設定書き出し	☒ 設定リセット
☒ 設定読み込み	☒ ログ書き出し	☒ ログ消去
☒ 日付/時間を変更	☒ 録画の設定を変更	☒ HDDをフォーマット
☒ HDD録画フラグを設定	☒ システムアップデート	☒ バックアップ
☒ アドミンパスワード設定	☒ 書き込みエラー	

必要なイベント内容のチェックボックスにチェックを入れて下さい。

全ての内容を設定後、確認ボタンを選択してください。システムログリスト内容が、絞り込まれて表示されます。

ログの消去については、4-1-4 ユーティリティ⑤ログの消去を参照ください。

9. PTZ操作 アイコン



事前に4-5-2 PTZ設定をお読みください。PTZ設定メニューに入ってください。PTZコントロールパネルが表示されPTZカメラの設定が出来ます。



赤枠が画面中央に表示されます。マウスで赤枠内のカーソルをドラッグして画面上のお好みの位

置に移動してください。DVRは画面中央にカーソルが来るようにPTZカメラを動かします。どのような方向にも画面は動きます。このようにカメラの方向を決めることができます。



赤枠の中に、赤のクロスカーソルがあります。以下の基本設定は、カメラ設定⇒4-5-2 PTZ設定の項目で事前に行ってください。



4-5-2 PTZ設定で行う項目

- ①通信プロトコルの選択：例 Pelco-D
- ②RS485 IDの設定：例 1
- ③通信ボーレートの選択：19200bps

PTZ操作方法

まず操作をするカメラのチャンネルを選んで、1画面表示にしてください。その後、PTZアイコンを選択して、操作画面にします。カメラの操作や設定が終了後は  を選択してください。通常モードに戻ります。

	ZOOM +/- または、スライダーでzoomレベルが調整できます
	FOCUS +/- または、スライダーで焦点調整が出来ます
	IRIS +/- またはスライダーで絞り調整が出来ます
	左右キーを押すとカメラがプリセット位置に動きます。そして、  をクリックすると現在位置のデフォルト位置にカメラは戻ってきます。
	左右キーを押してカメラをプリセット位置に移動して、さらに  をクリックするとカメラは次のプリセット位置に移動します

Touring	設定から32箇所のプリセット位置を設定できます。 Touringのチェックボックスにチェックを入れると、順番にプリセット位置に移動します。
---------	---

10. 映像停止 アイコン

本機能では、ライブ映像を静止画として停止することが出来ます。



映像停止をするとアイコンが映像再開に変わります。映像再開で通常モードに戻ります。

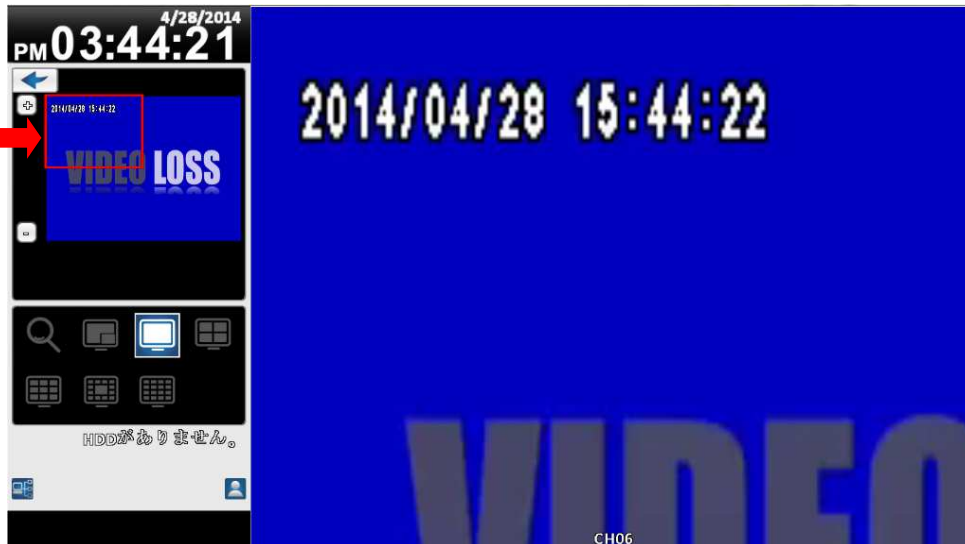


11. デジタルズーム

本機にはデジタルズーム機能があります。拡大して見たいチャンネルを選択してズームアイコンを選択してください。



デジタルズームモードでは、マウスを使用して赤長方形を動かすとズームエリアが移動します。



	ズームイン 拡大率が大きくなります
	ズームアウト 拡大率が小さくなります

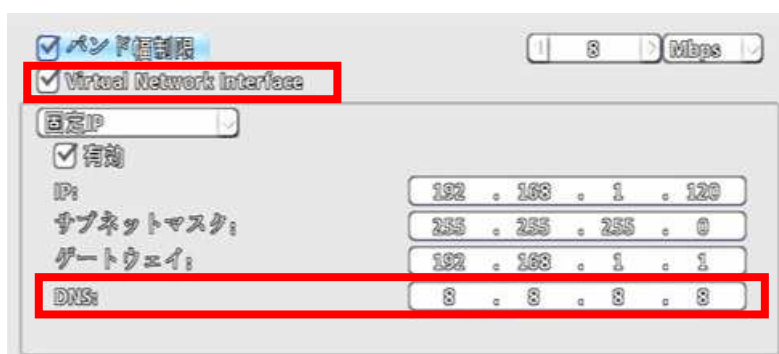
デジタルズーム操作が終了後は  を選択してください。通常モードに戻ります。

1 2. IPカメラ設定

1 . Virtual Network Interface (ヴァーチャルネットワーク) の設定 (IPカメラ設定)

IPカメラを接続する場合は、Virtual Network Interfaceのチェックボックスにチェックを入れてください。

設定⇒ネットワーク設定⇒固定IPの設定画面



固定IPのチェックボックスを有効にし、必要項目を入力してください。

(デフォルトIP 192.168.1.120)

注意： DNSをご使用の場合は、Virtual Network Interfaceのチェックボックスのチェックを外してください。(IPカメラのサーチは機能しません。)

2. IPカメラ設定 アイコン



この設定では、接続されているIPカメラ（ONVIFプロトコル）をサーチして設定を行います。

設定⇒カメラ設定の画面

カメラ設定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

☐ マスク

カメラ名: CH02

DVR Mode ☐ 全てに反映

Video Format: (自動)

PTZ

☒ RS-485 ☐ UTC

☒ 有効

プロトコル: Pelco-D

PTZ ID: 1 1

ポーター: 19200

高等な設定 ...

確認 取消

モード設定でIP Modeを選択します。

カメラ設定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

☐ マスク

カメラ名: CH01

IP Mode ☐ 全てに反映

検索: Empty

プロトコル: ONVIF

IP:

ポーター: 1

UID:

ユーザー名:

パスワード:

高等な設定 ...

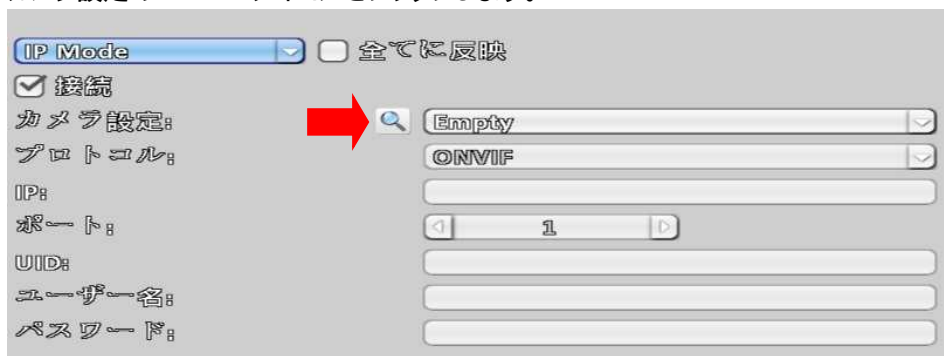
確認 取消

接続のチェックボックスにチェックを入れてください。

IP Mode

☒ 接続

カメラ設定の  アイコンをクリックします。



IP Mode ☐ 全てに反映

☒ 接続

カメラ設定:  Empty

プロトコル: ONVIF

IP:

ポート:

UID:

ユーザー名:

パスワード:

接続されているIPカメラがサーチされます。  アイコンをクリックします。



カメラ検索

プロトコル: ONVIF

UID	IP	ポート	
ONVIF 00-d0-80-15-52-d5	192.168.1.101	80	

新

名前	UID	IP	ポート

確認 取消

登録設定画面の  アイコンをクリックします。



カメラ検索

プロトコル: ONVIF

UID	IP	ポート	
ONVIF 00-d0-80-15-52-d5	192.168.1.101	80	

新

名前	UID	IP	ポート

確認 取消

設定修正画面でユーザー名、パスワードを確認します。

設定修正

カメラ名: ONVIF (192.168.1.131)

プロトコル: ONVIF

ユーザー名: admin

パスワード: ooooo

IP: 192.168.1.131

ポート: 80

Stream Type: Dual Stream

メインストリー: Profile 1

サブストリー: Profile 2

確認 取消

ユーザー名とパスワードを修正する時は、ソフトウェアキーボードから入力します。

設定修正

カメラ名: ONVIF (192.168.1.131)

プロトコル: ONVIF

ユーザー名: Admin

パスワード: oooo

IP:

ポート:

Stream Type

メインストリー

サブストリー

設定が完了しましたら、確認をクリックします。

設定修正

カメラ名: ONVIF (192.168.1.131)

プロトコル: ONVIF

ユーザー名: Admin

パスワード: oooo

IP: 192.168.1.131

ポート: 80

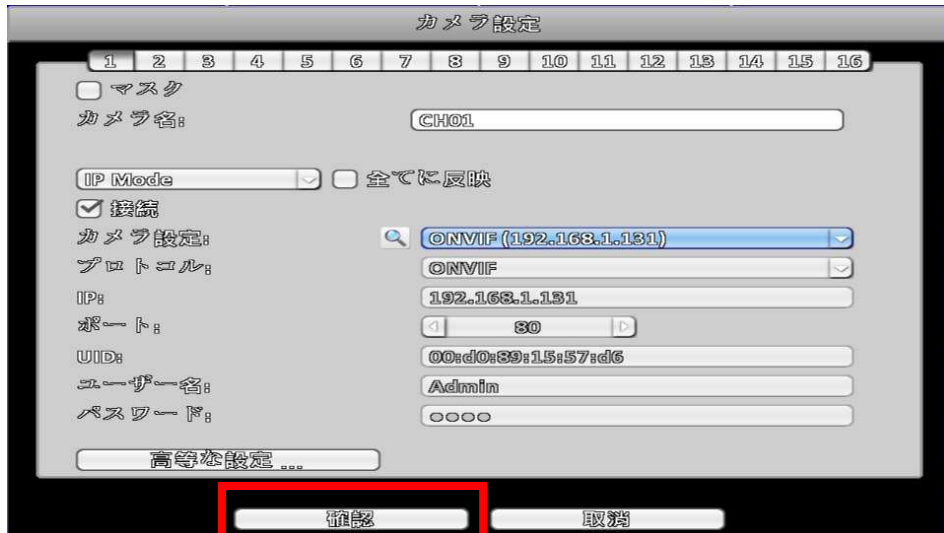
Stream Type: Dual Stream

メインストリー: Profile 1

サブストリー: Profile 2

確認 取消

カメラ設定画面の確認をクリックします。



複数台のIPカメラを設定する場合は、同じ操作を行います。

1 3 . リモート操作（PCから遠隔操作）

ソフトウェアのインストール

DVRは、許可されたユーザーがLAN接続されたPCから「iWatchDVR」または IE v6.0 以上のアプリでアクセスして操作することができます。

注意：Windows XP SP2以上と Windows Vista, Windows 7, 8,10に対応しています。

1 3-1 アプリケーションソフトによる接続「iWatchDVR」

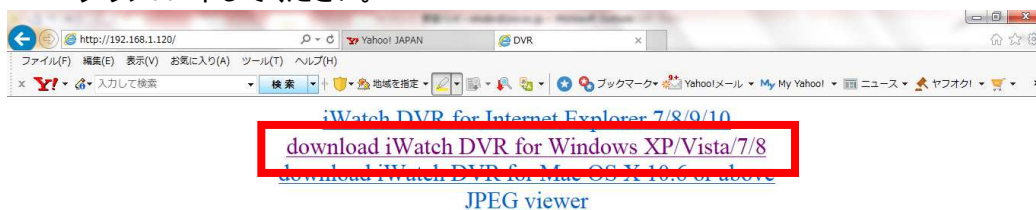
手順 1：IEブラウザに DVRのIPアドレスを入力してください。（デフォルト192.168.1.120）



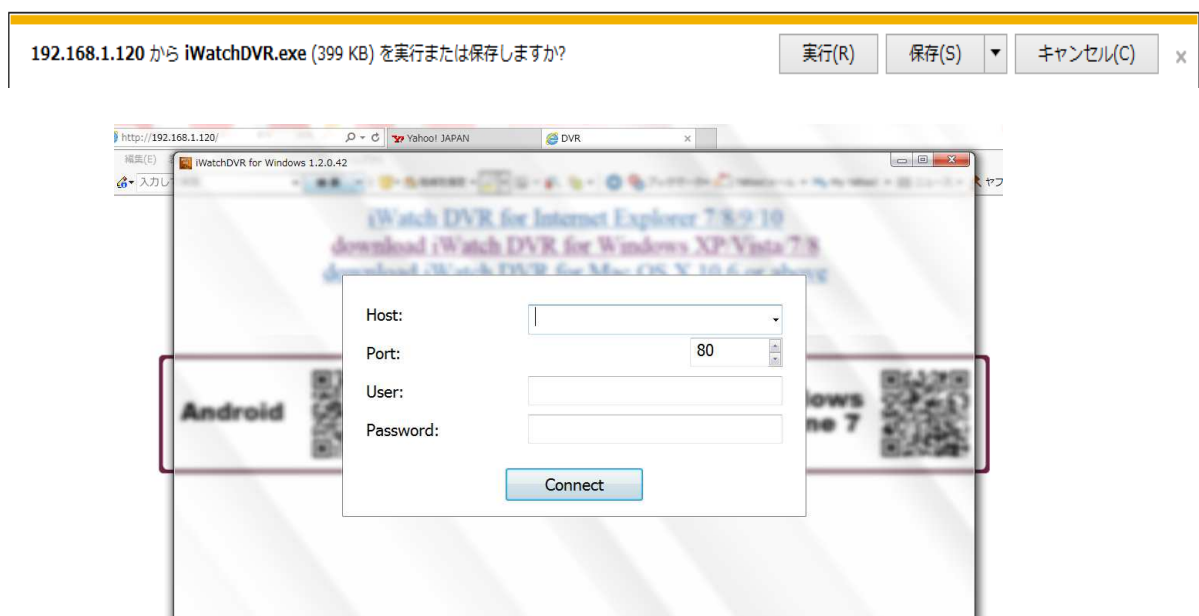
手順2：以下のウィンドウが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。デフォルトユーザー名とパスワードは admin / 123456となります。その他のアカウントは設定が必要です。“アカウント設定”を参照して下さい。



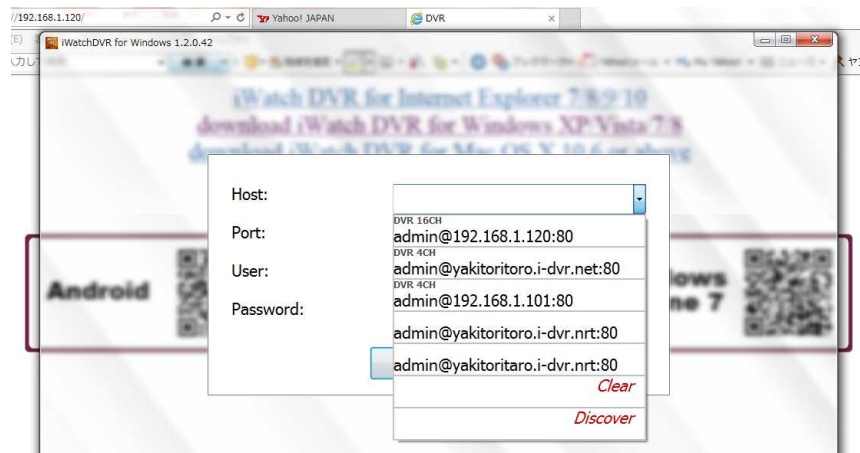
手順 3 : ” iWatchDVR for Windows XP/Vista/7/8 ” をクリックしてアプリケーションソフトをダウンロードしてください。



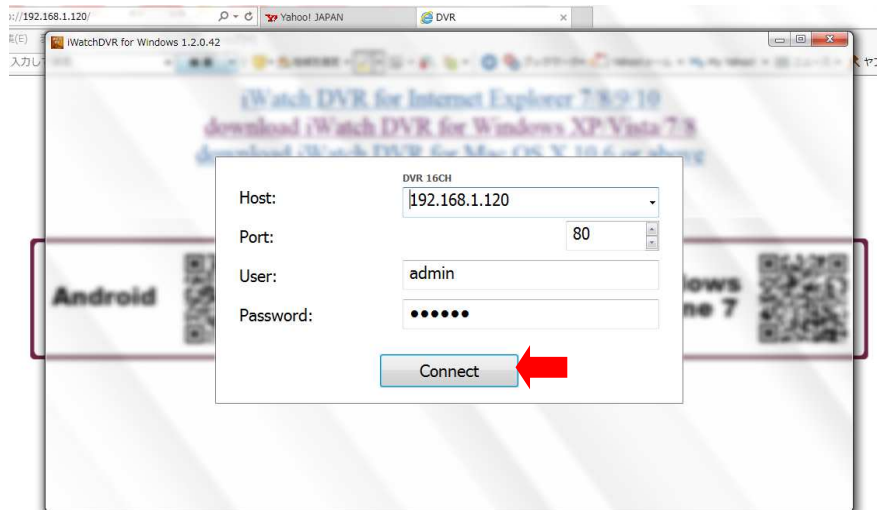
手順 4 : 下記のバーの実行を選択すると、スタートウィンドウが表示されます。接続のために、DVR の IPアドレス、 ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力してください。



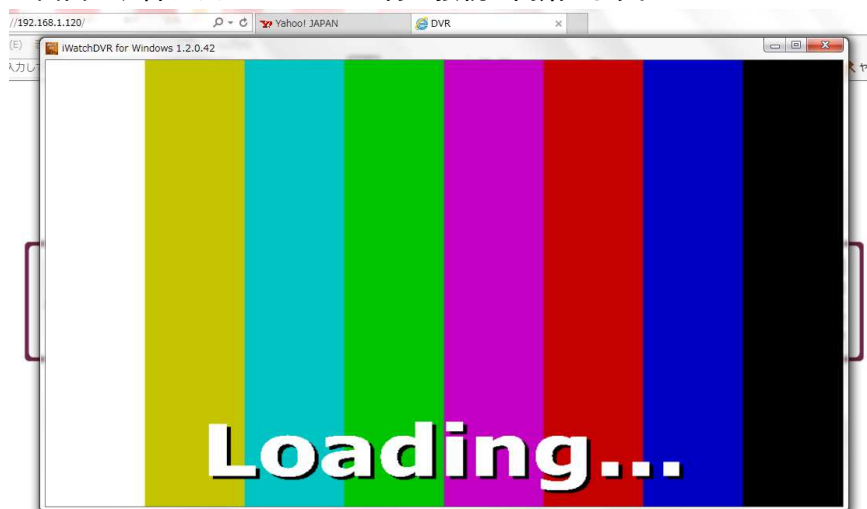
何度か使用している場合は、ドロップダウンにより、記録されたIPアドレスを使用できます。クリアも出来ます。



入力完了後 “Connect” 接続をクリックします。



カラーバーの画面に切替わり、LOADINGを行い接続を開始します。



手順5：ローカルと同様な以下の画面が表示されログインが完了します。



注意：admin 以外のアカウントでログインする場合は、本体にリモート許可の設定が必要です。

1 3 -2 IEブラウザからの接続

手順 1：IEブラウザにDVRのIPアドレスを入力してください。（デフォルト192.168.1.120）



手順2：以下のウインドウが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。デフォルトユーザー名とパスワードは admin / 123456となります。その他のアカウントは設定が必要です。“アカウント設定”を参照して下さい。



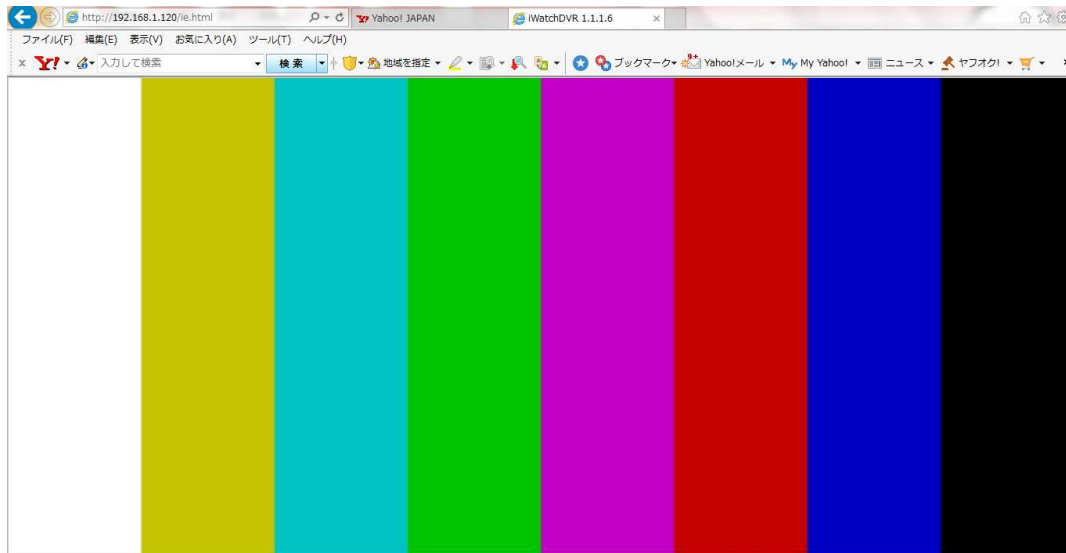
手順 3：“iWatchDVR for Internet Explorer 7/8/9/10”をクリックしてください。



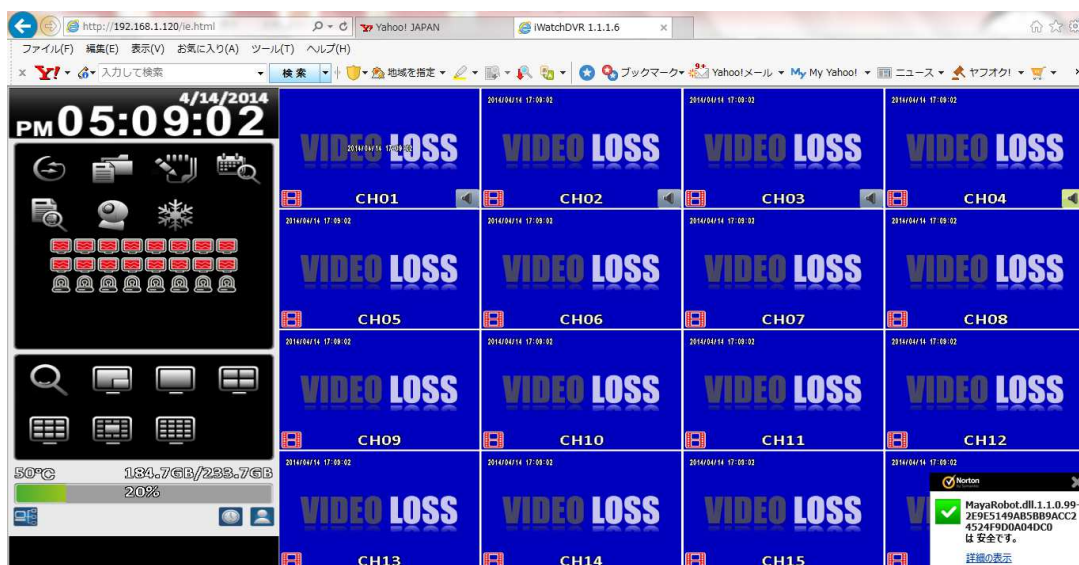
注意：はじめてクリックするときは、IE 接続のセキュリティ問題がある場合があります。

第3章のリモートモニタリングの ActiveX コントロールのインストールを参照ください。

カラーバーの画面に切り替わり、LOADINGを行い接続を開始します。



手順 4：接続が完了すると、DVR 画像が表示されます。



注意：admin 以外のアカウントでログインする場合は、本体にリモート許可の設定が必要です。

1 3-3 リモート操作

リモート接続により、PCから操作する場合もローカルの操作と、ほぼ同様ですが、ショートカットツールバーの一部の機能のみ、リモート操作専用の機能となっています。

本項では、リモート操作のみの項目について説明します。

リモート接続のショートカットツールバー

① ② ③ ④



- ①録画ボタン
- ②フルスクリーン
- ③初期設定
- ④ネットワークストリーム

①録画ボタン

リモート操作でPCに録画する場合に使用します。

分割画面状態で録画ボタンをクリックすると、全チャンネルの録画を開始します。

録画開始と共にアイコンマークが以下のように変わります。(録画中アイコン●)



録画中アイコンをクリックすると録画は停止されます。

1chのみ録画したい場合は、あらかじめ録画したいチャンネルをダブルクリックして、1画面表示にしてから、録画ボタンをクリックしてください。

②フルスクリーン

フルスクリーンをクリックすると、PC画面一杯にDVRの画像が出画されます。

再度フルスクリーンをクリックすると、通常画面に戻ります。



クリック前

フルスクリーン

③初期設定



リモート録画とリモートスナップショットデータを保存するPCフォルダーを設定します。

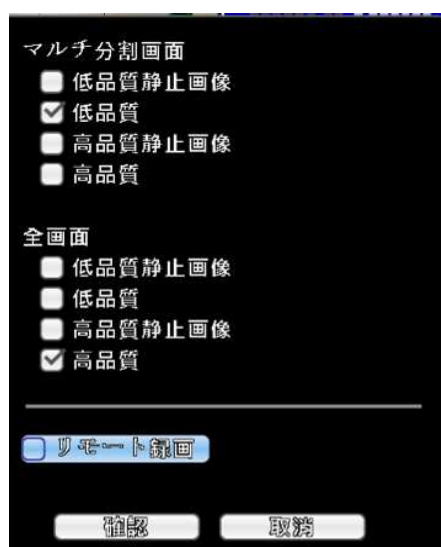
本項の設定方法は、6 -3 リモート接続でのバックアップを参照ください。

④ネットワークストリーム

本項では、DVRがアップロードする画像の品質を設定します。リモート画像が重たくてスムーズに表示されない場合や、画像の持ち出しでファイルを小さくしたい場合等に、ご使用ください。（4-7-5バンド幅制限を参照ください。）



このアイコンをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。



分割画面（マルチ分割画面）での画像品質と1画面表示（全画面）での画像品質をそれぞれに設定することが出来ます。例：分割画面は低品質、1画面は高品質

さらに、スナップショットは静止画として、動画のバックアップとそれぞれに画像品質を

設定することが出来ます。例：スナップショットは高品質、動画バックアップは低品質

また、アップロード画像品質のみではなく、リモート録画にチェックをすると録画品質にも反映されて、ファイルを小さくすることも出来ます。

設定終了後は確認を選択してください。

リモート録画の再生は、6 -4 バックアップファイルの再生を参照ください。

1 4 . DDNSサーバーの登録

I-DVR.NETの登録

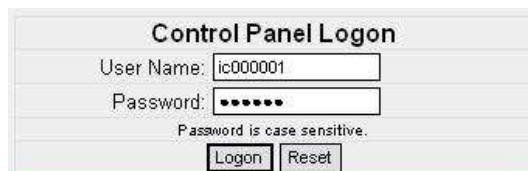
DDNS による I-DVR.NETの登録

DVRに付属されている、CDパッケージのステッカーに、DDNSの I-DVR.NET 登録でログインするための、ユーザー名とパスワード記載されています。

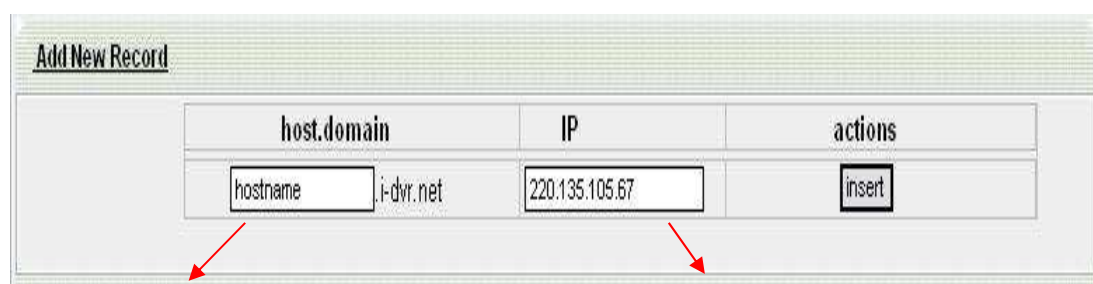
I-DVR.NETの、DDNSへの登録は下記の手順を参照して行ってください。

Step 1. 画像の閲覧に使用されるPCで、IEブラウザを開いて、“<http://i-DVR.NET/logon.asp>” を入力してください。下記の、“Control Panel Logo” ダイアログが表示されますので、CDケースのステッカーに記載されている、username（ユーザー名）と password（パスワード）を入力して “Logon.” ボタンをクリックしてください。

注意：DVRが接続されているLAN内のPCから接続してください。DDNSサーバーは、DVRが接続されているLANのルーターを探しに来ます。



Step 2. ログイン成功後、“Add New Record” ダイアログに “host” ホスト名を入力します。例えば、“hostname” と入力すると、それがホスト名となりアドレスは、“hostname.i-dvr.net.” となります。次にIPアドレスの設定を行います。DVRのIPアドレスが解っている場合は入力します、解らない場合は “insert” ボタンをクリックします。すでに表示されている場合は次のStepに進みます。

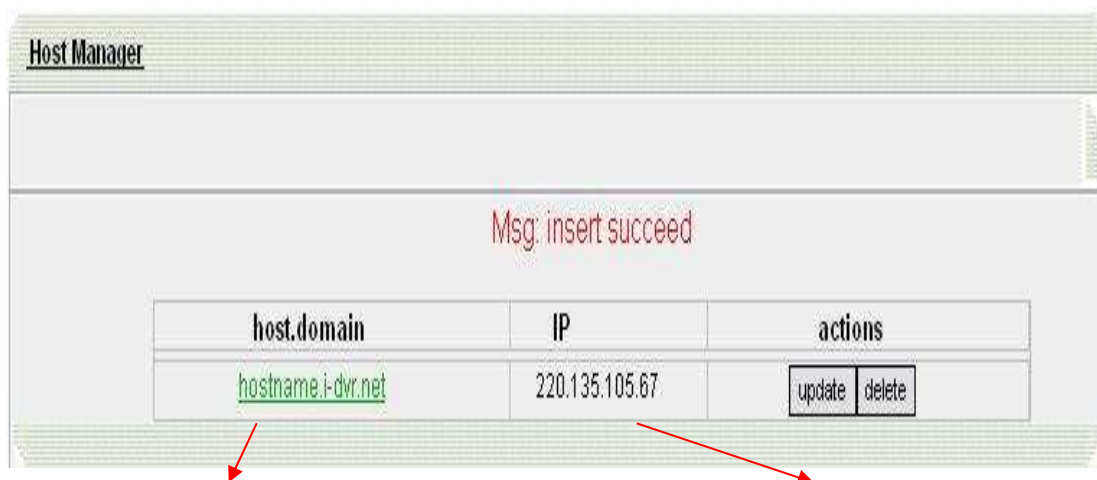


この欄 “host.domain” に、あなたが選んだ名前を入力してENTERを押してください。
例えば、“hostname” と入力すると、この場合、IEアドレスは、“hostname.i-dvr.net” となります。

システムは自動的に、現在ご使用のPCのIPを表示します。
DVR IPをご存知の場合、IP欄にタイプ入力が出れます。ご存じない場合は、“insert” ボタンを押してください。

Step 3. ユーザーセットアップが成功すると、“Host Manager” ダイアログに “insert succeed” のメッセージが表示されます。“host.domain” 欄には、前項で入力したアドレスが表示されます。

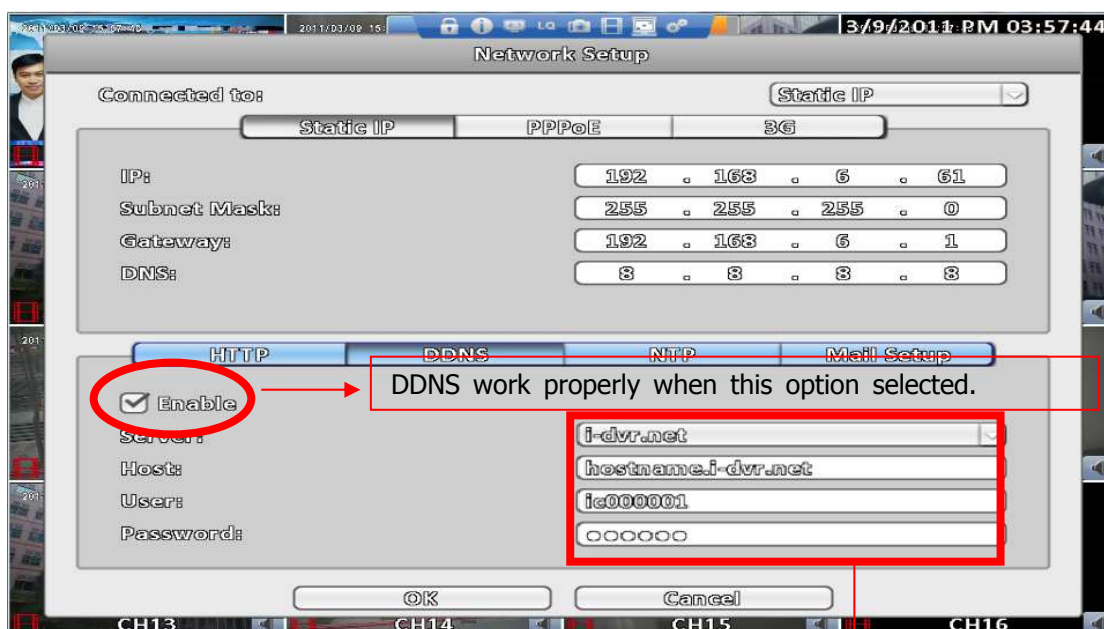
次に、DDNSクライアントマシン情報を同時にDVRに設定します。うまくDVR側の DDNS設定が成功した場合、ウェブサイト側はIP情報を1分程度で更新します。「F5」キー（リフレッシュボタン）を押すことにより、IP欄に対応する新しい IPアドレスに更新されます。



“host.domain” ホストドメイン名は、お客様が選択した名称です。
“hostname.i-dvr.net” はメインサーバーより発生して表示されます。

DVRのIPが変化するにはアップデートを行います。
ここで同時に PCの “F5: Refresh” キーを押すと IP欄は自動的に実際の IP アドレスにアップデートされます。

Step 4. DVR側 → メインメニュー → 設定 → ネットワーク設定 → DDNS.有効にして DDNS 機能の関連情報を入力します。



Step 5. PCのi-dvr.netのページに戻り、"F5: Refresh"キーを押します。IPアドレスが自動的に、DVRの実際のIPアドレスに更新されます。



Step 6. PCのIEブラウザを開いて、hostname.i-dvr.netをアドレスバーに入力して、DVRと接続します。

注意：本作業では、DDNSへの登録は完了しましたが、ルーターの接続が完了するまで、DDNSによるDVRへの接続は完了していません。
ご使用のルーターの取扱説明書を良くお読みなって、ルーターの設定を行ってください。

1 5 . モバイル接続

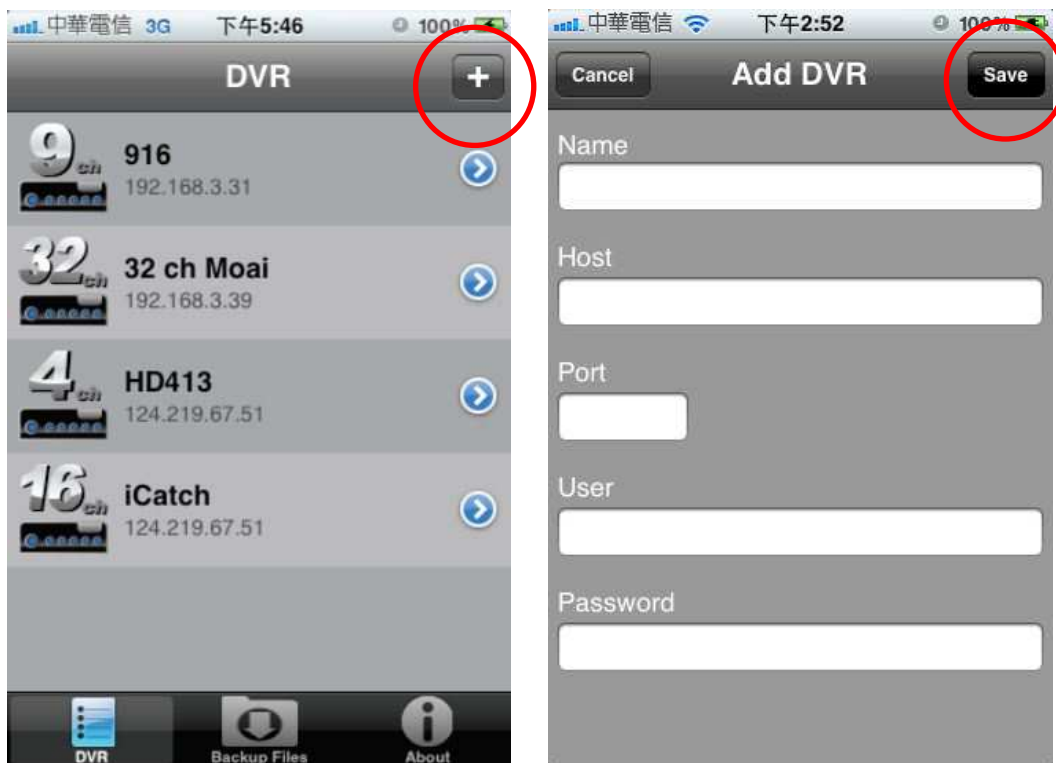
1 5 -1 iPhoneでの接続

iPhoneでは、SoCatch のアプリケーションソフトを使用します。

SoCatch ユーザーマニュアル **【iPhone】**

Requirement: iOS 4.3.x 以上が必要です。

1. ご使用の iPhone で App Store から “SoCatch” をダウンロードしてインストールしてください。
2. “SoCatch” アイコンをタッチして、プログラムを起動してください。
3. 新規の DVR 情報を入力します。
初めて、このプログラムをご使用になる時は、以下のステップに従って、DVRの情報を入力して保存してください。“+” ボタンを押すとAdd DVR画面が表示されます。 Name / Host (IP) / Port / User Name / Password情報を入力して “Save” ボタンを押してください。



後日DVR情報を更新したい場合は、“” ボタンを押して行って下さい。

Name : DVR名（デフォルト：DVR 16ch等）

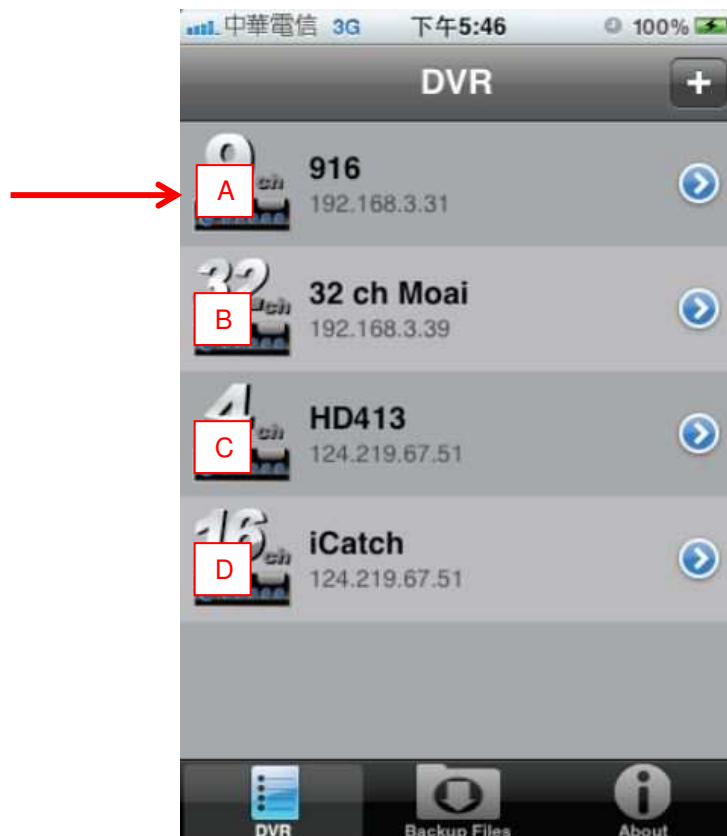
Host : DDNSの場合は設定したドメイン名、固定IPの場合はIPアドレス

Port : デフォルト：80、 User : adminまたは、作成したアカウント

Password : adminのデフォルト：123456、または作成したパスワード

4. ライブ画像

このアプリケーションを使用して、複数台のDVRとの接続を保存できます。但し、接続して画像を見ることが出来るDVRは1回の接続で1台のみです。同時に複数台は見られません。



ご使用のネットワーク品質により、接続に成功する時間は異なってきます。ネットワーク状況が悪い場合は、接続できないこともございます。

下図赤枠の“1CH/4CH/9CH/16CH.”のボタンにより、見たい分割チャンネル数の選択をすることが出来ます。

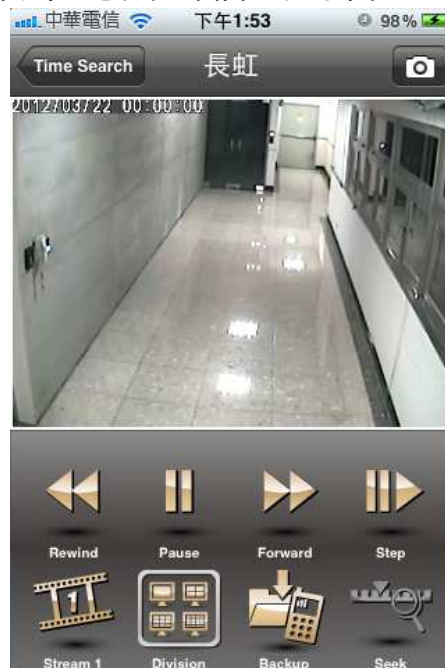


ストリームNo.1 と No.2. の切換えにより、より良い接続を選択することが出来ます。



5. 再生 Playback

再生では、時間検索とイベント検索が出来ます。同時再生は最大4画面をサポートします。コントロールバーのSearchをタッチすると以下の画面になります。



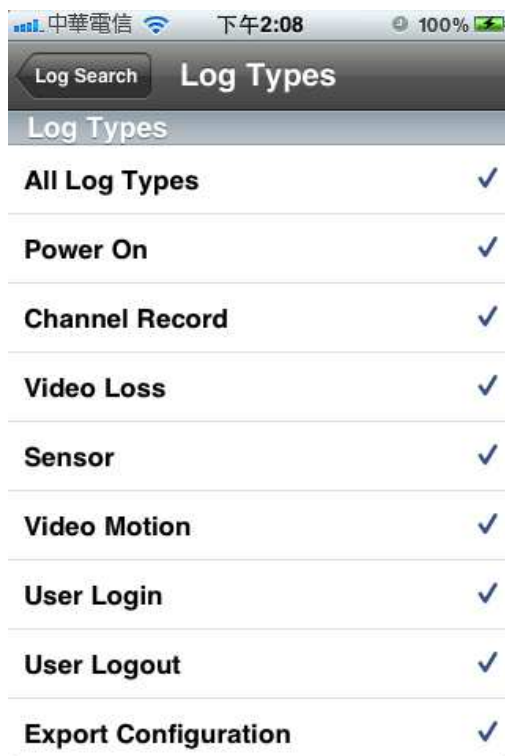
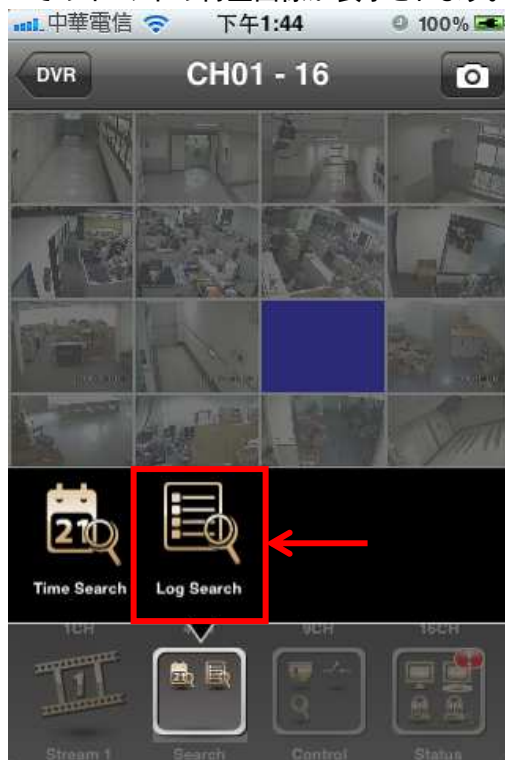
6. 時間検索 Time Search

Time Searchボタンを押して、DVRに録画されている画像を検索して、再生することが出来ます。左のカレンダーに現在画像が記録されている日付が表示されます。見たい日時を検索して再生してください。



7. ログ検索 Log Search (イベント検索 Event Search)

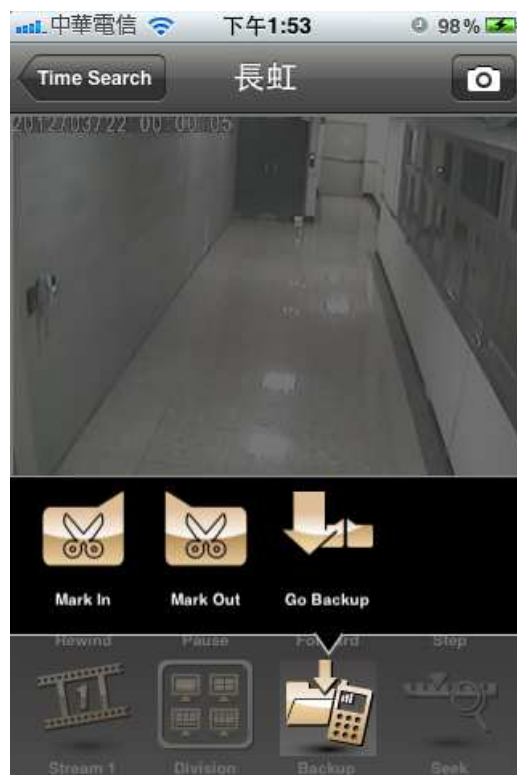
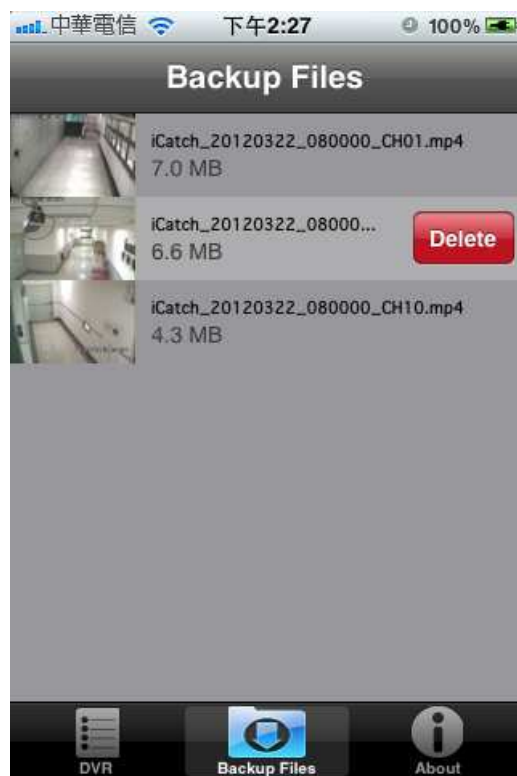
Log Searchボタンを押して、検索したい時間帯（開始－終了時間）とイベントタイプを選択入力して、検索を開始すると検索結果リストが表示されます。リストから見たい記録を選択すると、そのイベントの再生画像が表示されます。



8. バックアップ Backup

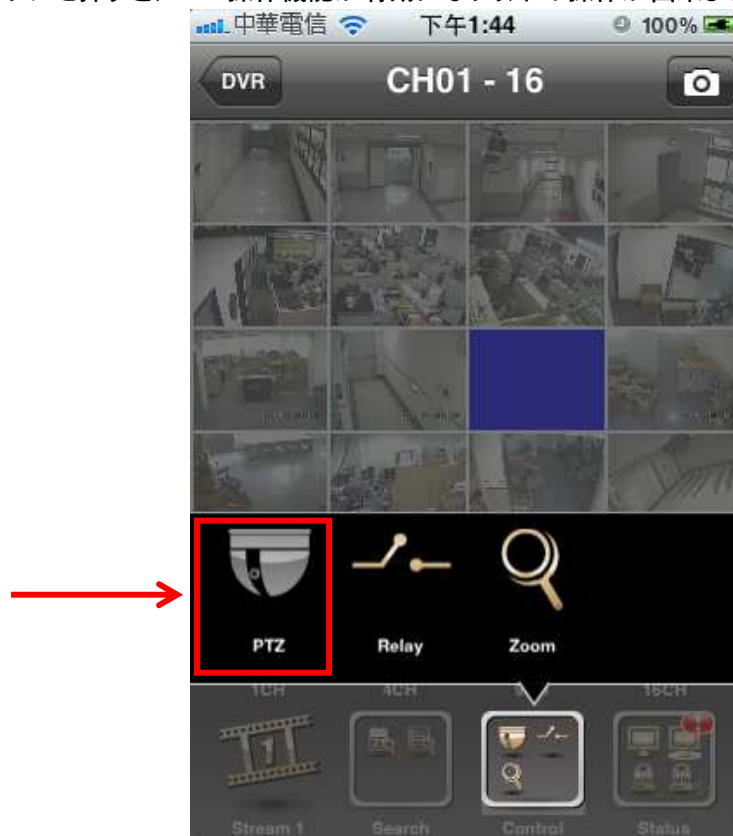
バックアップのページで開始時間と終了時間を選択します。バックアップするチャンネルを1 つ、または全チャンネルを選んでください。“Calculate”を押してダウンロードするには、iPhoneのメモリー上にどれくらいの空き容量が必要であるかを計算します。





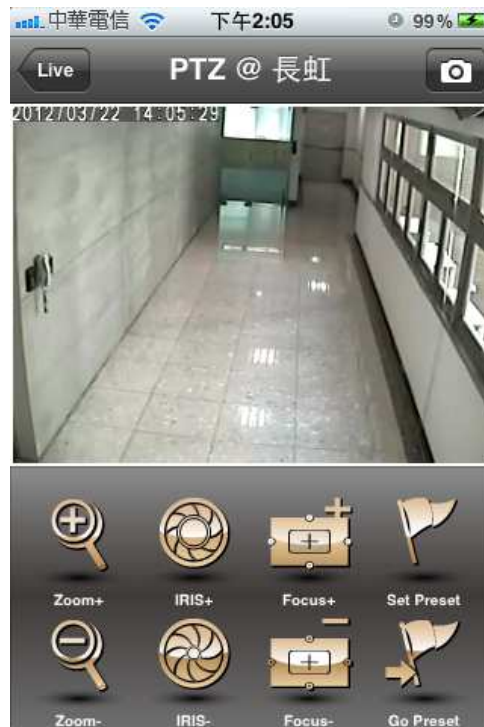
9. PTZ コントロール

PTZボタンを押すと、PTZ操作機能が有効になり以下の操作が出来ます。



画面に触れてタッチすることで、PTZの動作方向 (見る方向)が変えられます。





- (1) Zoom+ : Zoom in ズームイン
- (2) Zoom- : Zoom out ズームアウト
- (3) IRIS+ : 絞りを開く (明るくなります。)
- (4) IRIS- : 絞りを閉じる (暗くなります。)
- (5) Focus+ : 手動フォーカス調整+ 側
- (6) Focus- : 手動フォーカス調整- 側
- (7) Set Preset : プリセットポイントの設定
- (8) Go Preset : プリセットポイントに順次動きます。

10. リレー Relay

ここでは、DVRのリレー接続制御が出来ます。それぞれのリレー制御は個別に設定が出来ます。
必要に応じて、“1 Sec. /3 Sec. /5 Sec. /8 Secから選択して設定できます。



1 5 -2 Android Phone での接続

Google Android Phone OS アプリケーション操作マニュアル

(機種によっては、操作が異なる場合、または使用できない事もございます。)

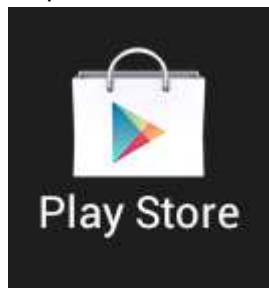
System requirements : 以下の仕様が必要です。

1. Operation systems : Google Android 2.1 以上
2. Wireless network support (GPRS/ 3G/ Wifi...etc.)

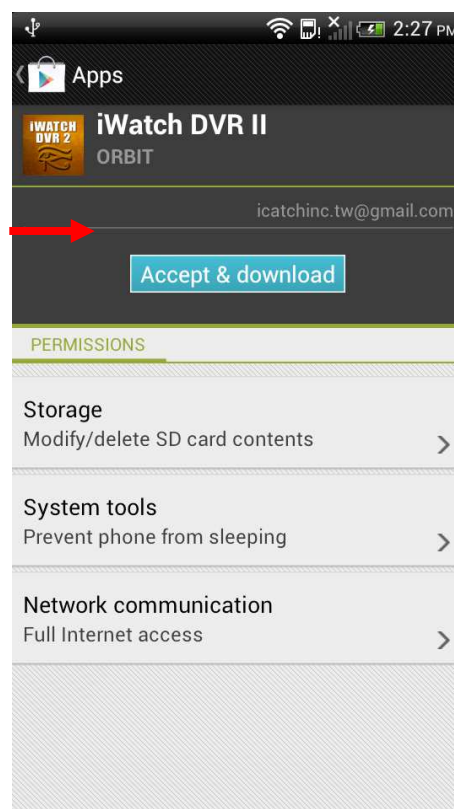
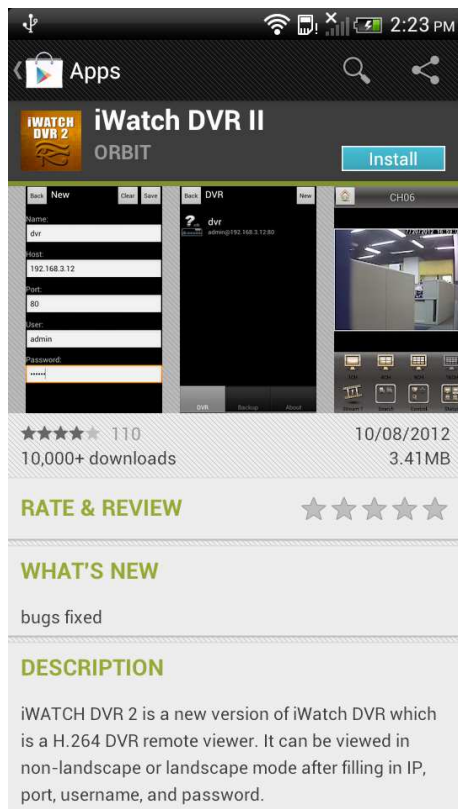
モバイルによるDVRの閲覧を行うために、以下の手順に従ってアプリケーションソフトのインストールを行ってください。

***インストールの前に、モバイル機器がインターネットに接続されている必要があります。**

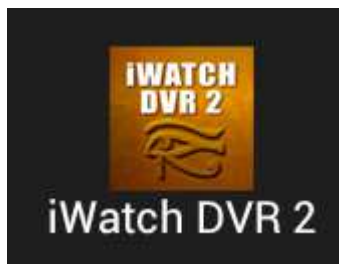
Step.1 Select “*Play Store*”



Step.2 "iWatch DVR II"を検索して Accept & Download でインストールしてください。



Step.3 起動 "iWatch DVR 2"



Step.4 New をクリックして接続を作成します。

Step.5 DVR 名, Host 名(IP アドレス), ポート番号, ユーザー名,パスワードを入力します。

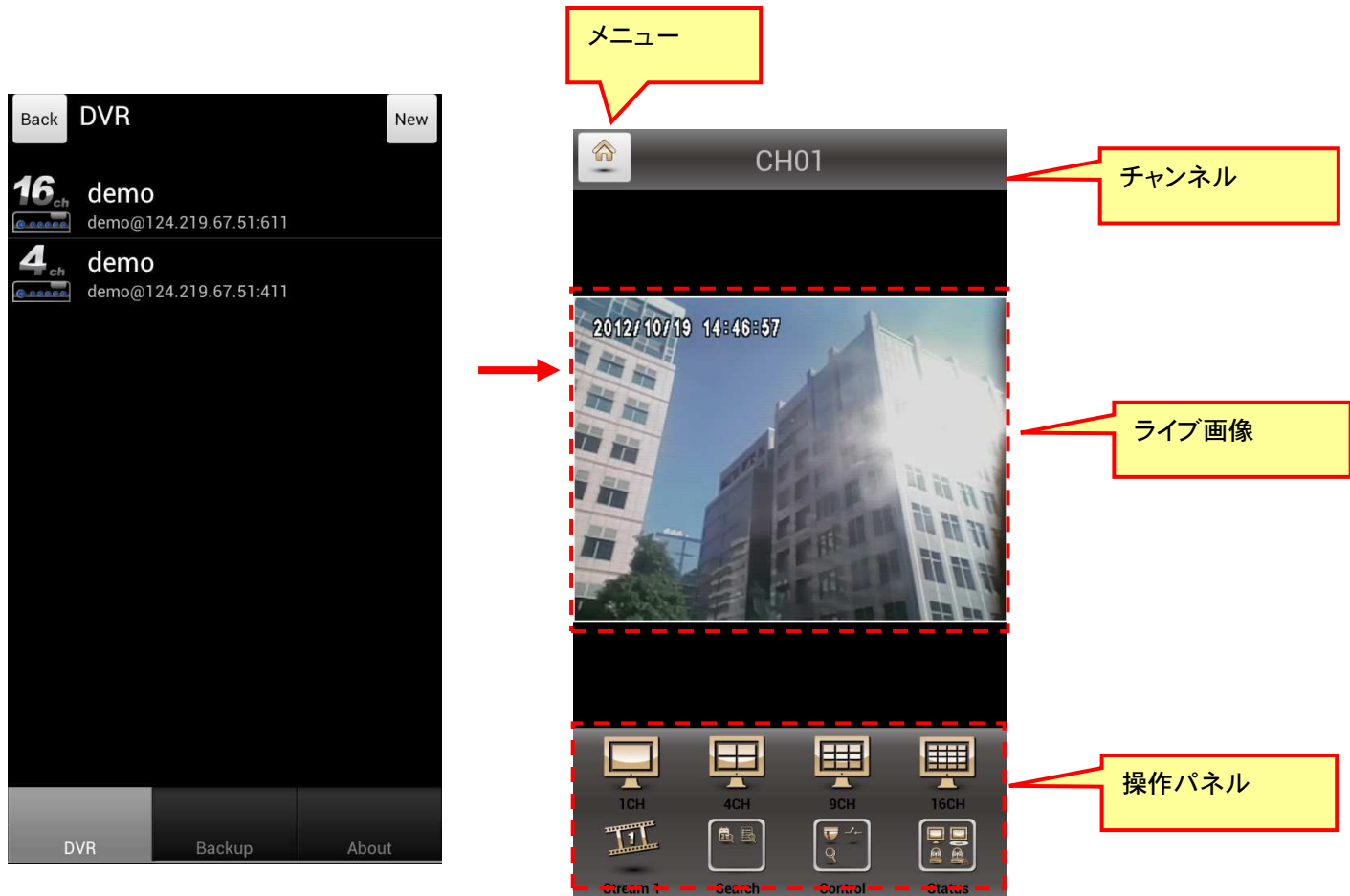
The image shows two screenshots of the iWatch DVR 2 interface. The left screenshot shows the 'DVR' screen with a 'Back' button and a 'New' button highlighted with a red box. The right screenshot shows the 'New' form with fields for Name, Host, Port, User, and Password, and 'Clear' and 'Save' buttons. A red arrow points from the 'New' button in the left screenshot to the 'New' form in the right screenshot.

NAME:DVR名（デフォルト：DVR 16ch等）
Host：DDNSの場合 設定したドメイン
固定IPの場合、IPアドレス
Port：ポート番号（デフォルト80）
User：デフォルトadmin
または、ローカルで作成したアカウント
Password：adminの場合デフォルト123456
または、作成したアカウントのパスワード

3. ご使用方法

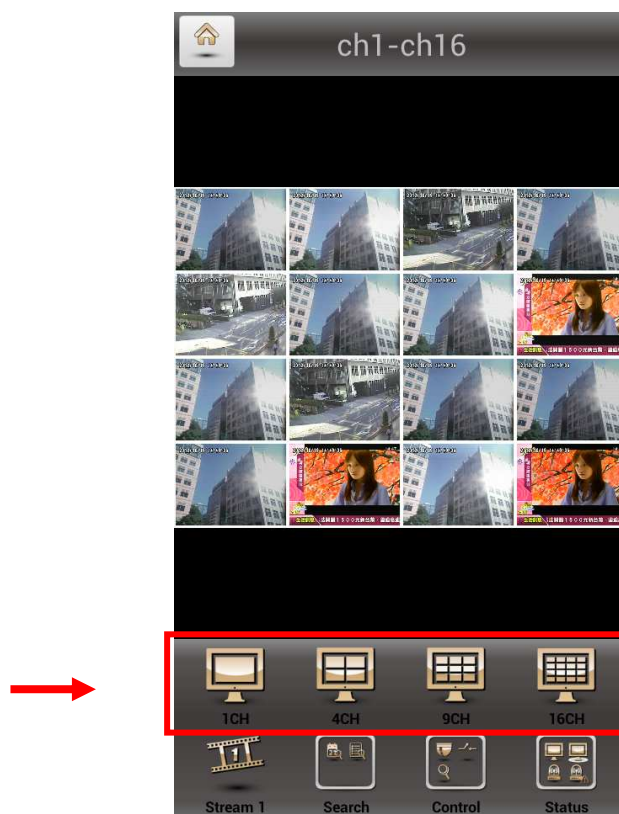
- ライブ画像

このアプリケーションを使用して、複数のDVRとの接続を保存できます。但し、接続して画像を見ることが出来るDVRは1回の接続で1台のみです。同時に複数台は見られません。

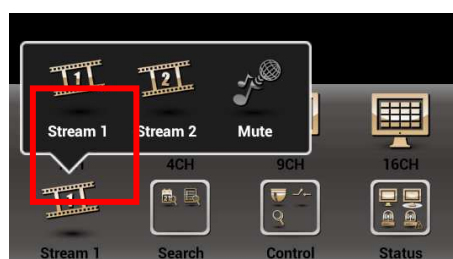


ご使用のネットワーク品質により、接続に成功する時間は異なってきます。ネットワーク状況が悪い場合は、接続できない事もございます。

下図赤枠の"1CH/4CH/9CH/16CH"のボタンにより、見たい分割チャンネル数を選択することが出来ます。

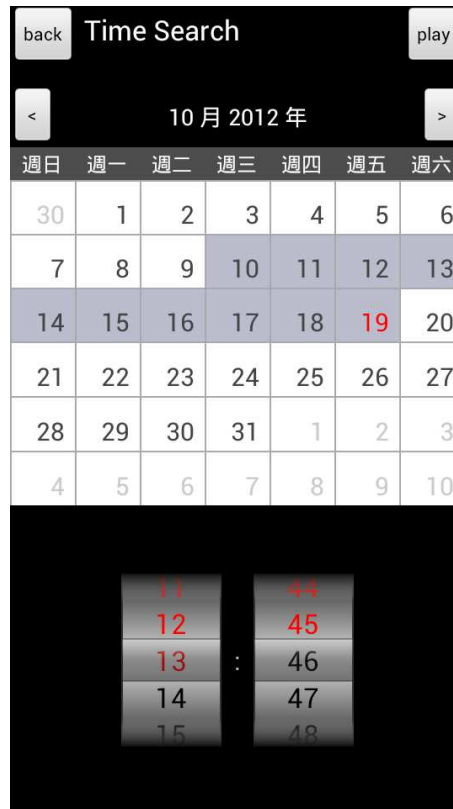


ストリームNo.1とNo.2の切換えにより、より良い接続を選択することが出来ます。



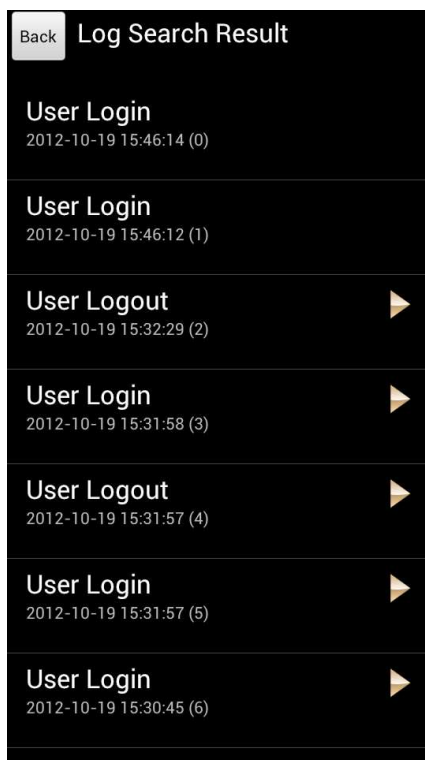
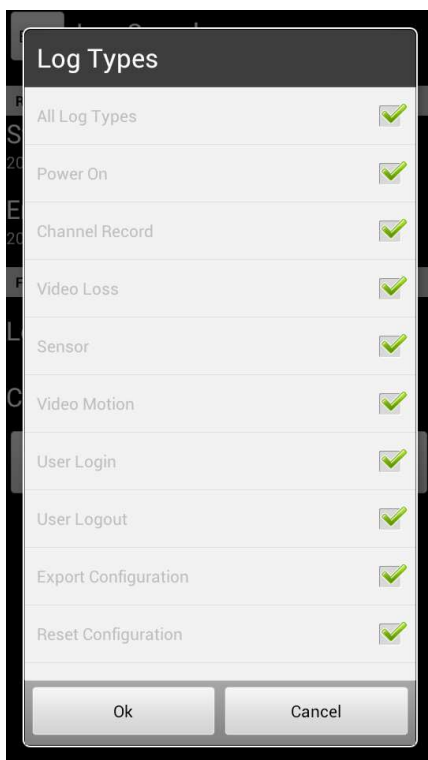
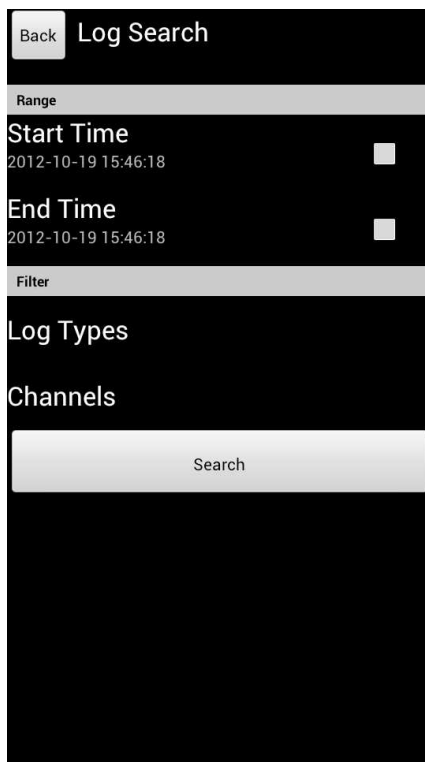
- 時間検索 Time Search

Time Searchボタンを押してDVRに録画されている画像を検索して、再生することができます。左のカレンダーに現在画像が記録されている日付が表示されます。見たい日時を検索して再生してください。



- ログ検索 Log Search (イベント検索 Event Search)

Log Searchボタンを押して、検索したい時間帯（開始－終了時間）とイベントタイプを選択入力して、検索を開始すると検索結果リストが表示されます。リストから見たい記録を選択すると、そのイベントの再生画像が表示されます。



- PTZ コントロール

PTZボタンを押すとPTZ操作機能が有効になり以下の操作が出来ます。



- (1) Zoom +: Zoom in ズームイン
- (2) Zoom -: Zoom out ズームアウト
- (3) IRIS+: 絞りを開く（明るくなります。）
- (4) IRIS-: 絞りを閉じる（暗くなります。）
- (5) Focus+: 手動フォーカス調整+ 側
- (6) Focus -: 手動フォーカス調整- 側
- (7) Set Preset: プリセットポイントの設定
- (8) Go Preset: プリセットポイントに順次動きます。

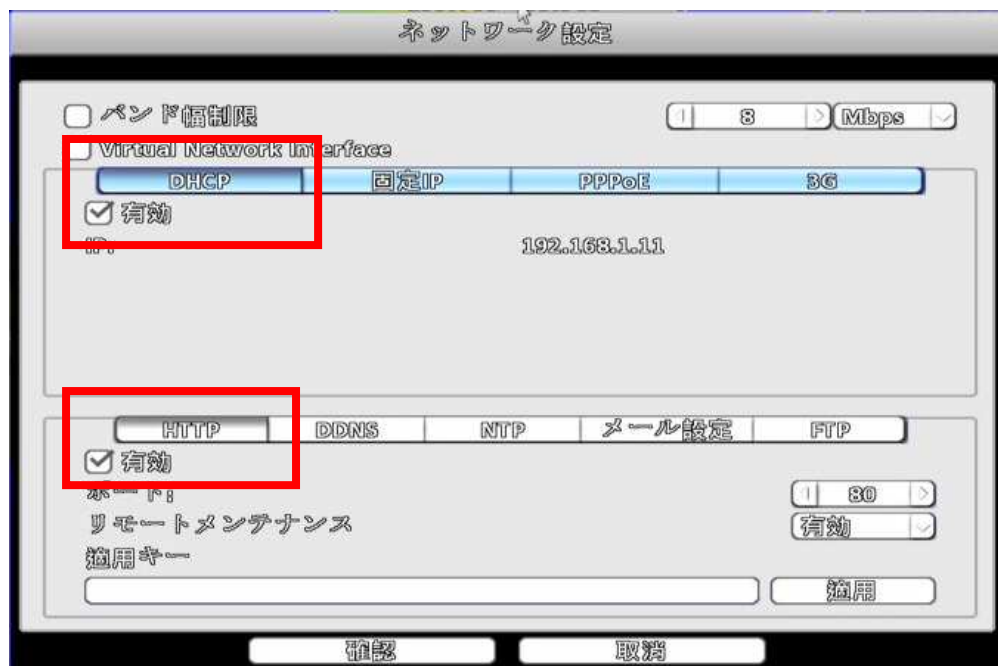
- Relay リレー

ここでは、DVRのリレー接続制御が出来ます。それぞれのリレー制御は個別に設定が出来ます。各リレーは、" N.O.(ノーマルオープン), N.C.(ノーマルクローズ), Auto(自動)"の中から選択出来ます。



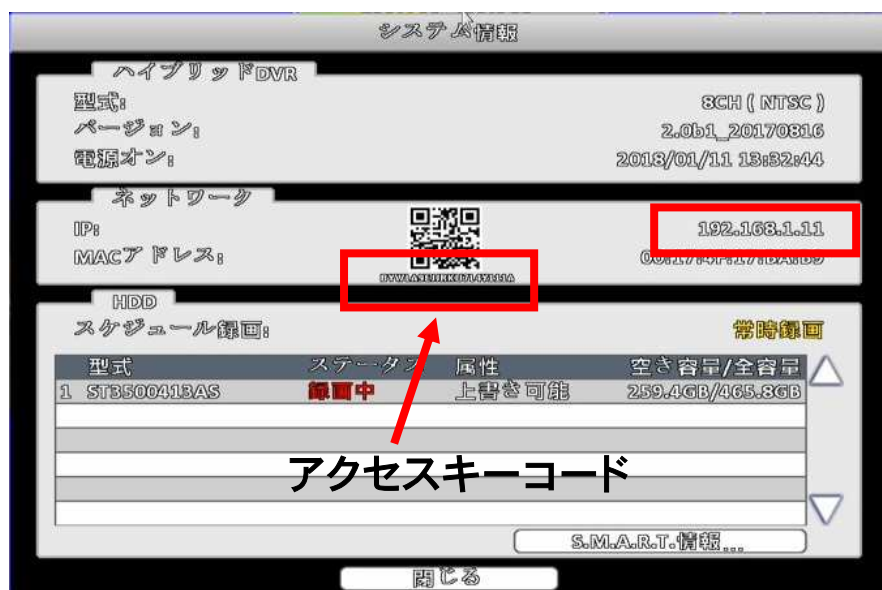
1 5 -3 P2Pでの接続

設定⇒ネットワーク設定⇒DHCPの設定画面



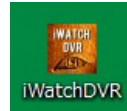
DHCPを選択します。IPアドレスは、DHCPサーバーにより自動的に振り分けられます。
DHCPのチェックボックスにチェックを入れて有効にしてください。
振り分けられた IPアドレスは、システム情報のネットワーク情報で確認が出来ます。
HTTPのチェックボックスにチェックを入れて有効にしてください。

メニュー⇒システム情報の画面



・ PCからの接続

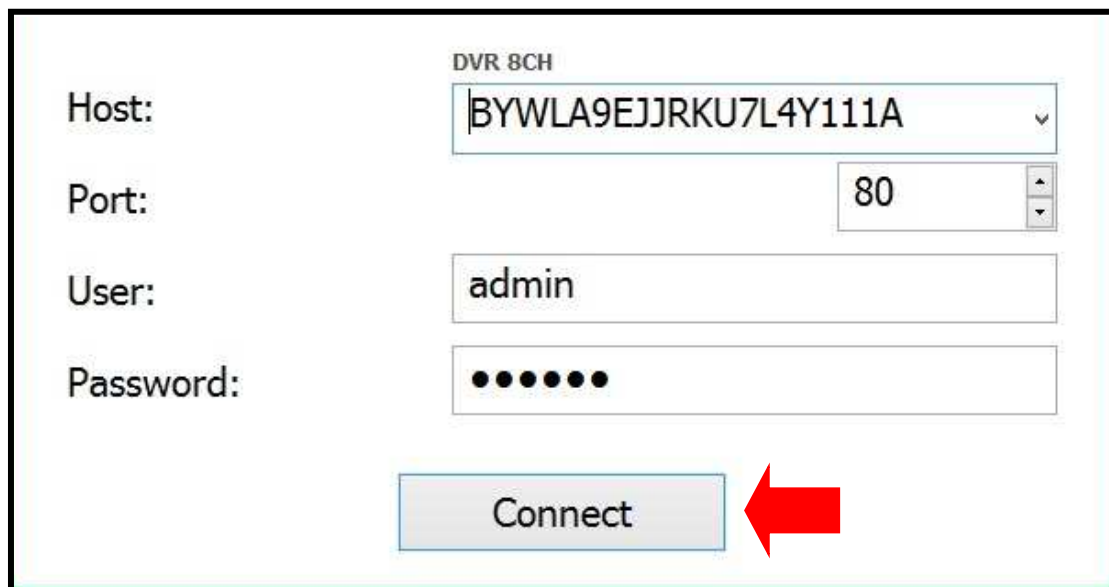
付属のCDにインストールされている” iWatchDRV” アイコン
アイコンをダブルクリックします。



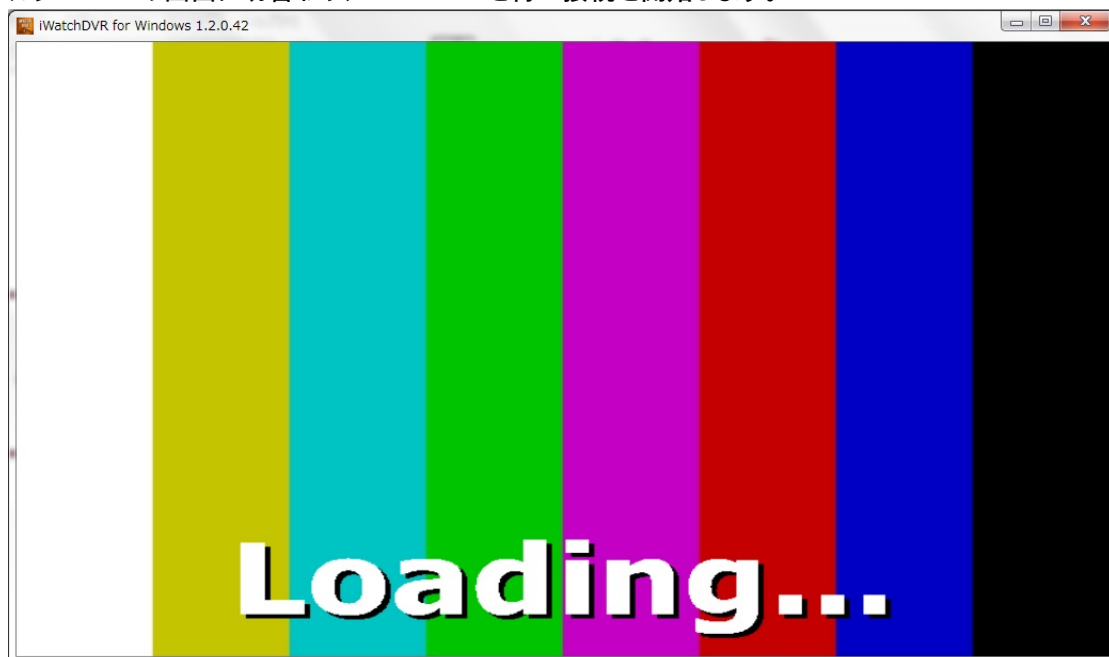
をPCにコピーします。

接続のために、アクセスキーコード、 ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力
してください。

” Connect” ボタンをクリックします。

A screenshot of the iWatchDVR connection form. It has a white background with a black border. At the top right, it says 'DVR 8CH'. There are four input fields: 'Host:' with a dropdown menu showing 'BYWLA9EJJRKU7L4Y111A', 'Port:' with a numeric input field showing '80', 'User:' with a text input field showing 'admin', and 'Password:' with a masked input field showing six dots. Below these fields is a 'Connect' button. A red arrow points to the 'Connect' button.

カラーバーの画面に切替わり、LOADINGを行い接続を開始します。



ローカルと同様な以下の画面が表示されログインが完了します。



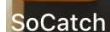
注意：admin 以外のアカウントでログインする場合は、本体にリモート許可の設定が必要です。

・モバイルフォン（iPhone）からの接続

ここでは iPhone からの接続手順をご説明します。

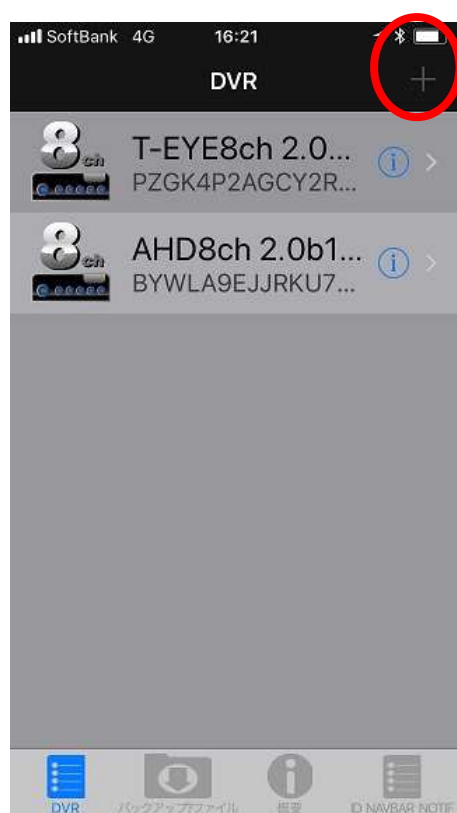
ご使用の iPhone で App Store から “SoCatch” をダウンロードしてインストールしてください。



“SoCatch” アイコン  をタップして、プログラムを起動してください。

新規の DVR 情報を入力します。

初めて、このプログラムをご使用になる時は、以下のステップに従って、DVRの情報を入力して保存してください。“+” ボタンを押すとAdd DVR画面が表示されます。

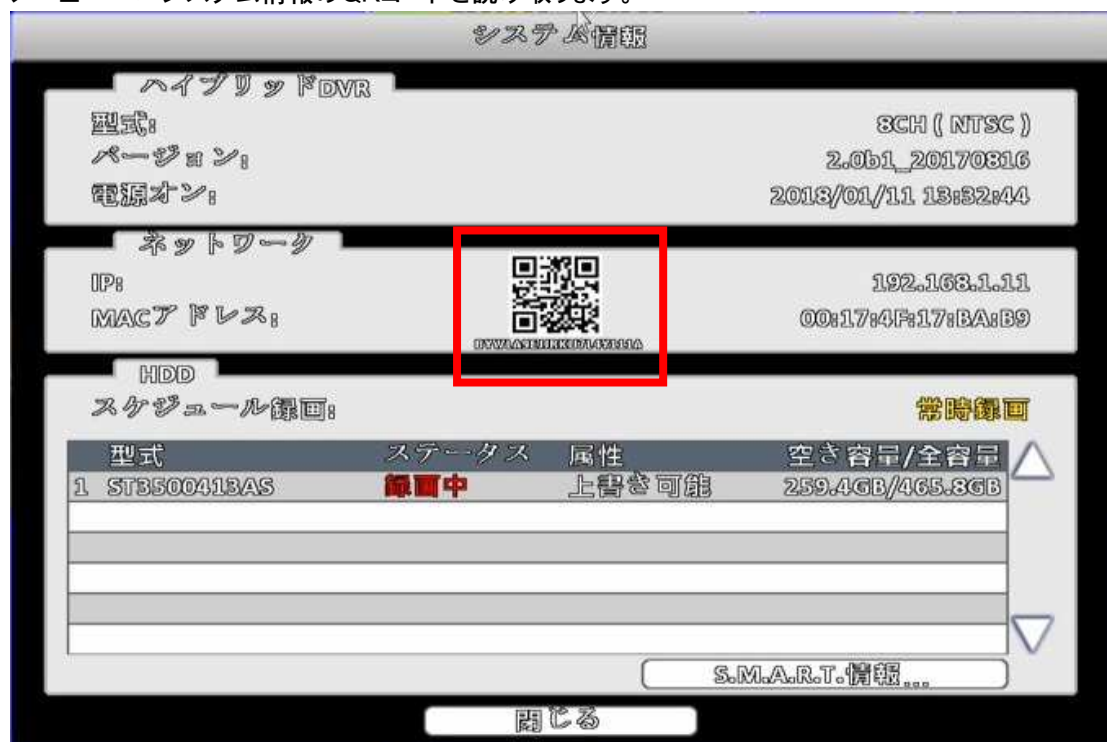


ADD DVRの画面



“Host” の “QRコードを読み取り” をタップします。

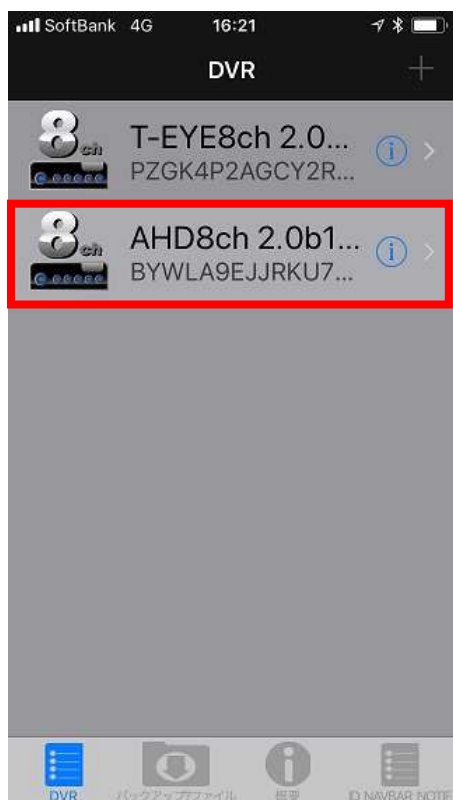
メニュー ⇒ システム情報のQRコードを読み取ります。



Host、Port、ユーザー、パスワードが自動で入力されます。
施設名を入力し、“保存”をタップします。



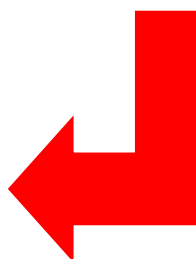
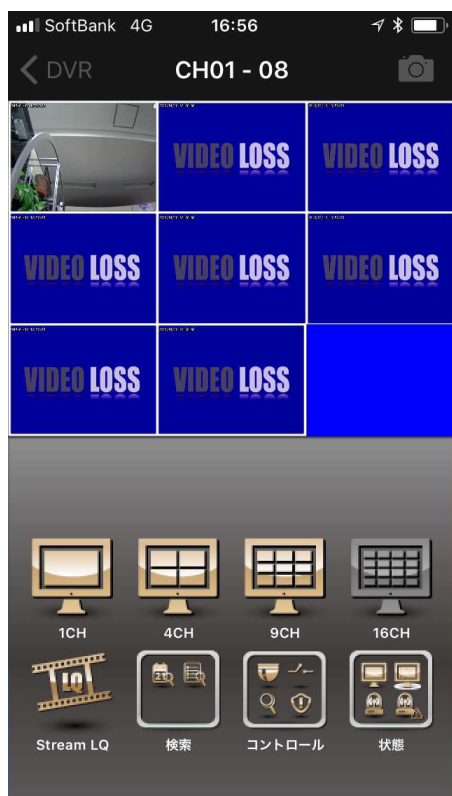
登録したDVRをタップします



接続中の画面に切り替り、接続を開始します。



接続完了画面。

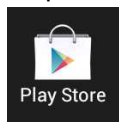


・モバイルフォン（Android Phone）からの接続

モバイルによるDVRの閲覧を行うために、以下の手順に従ってアプリケーションソフトのインストールを行ってください。

***インストールの前に、モバイル機器がインターネットに接続されている必要があります。**

Step.6 Select “Play Store”



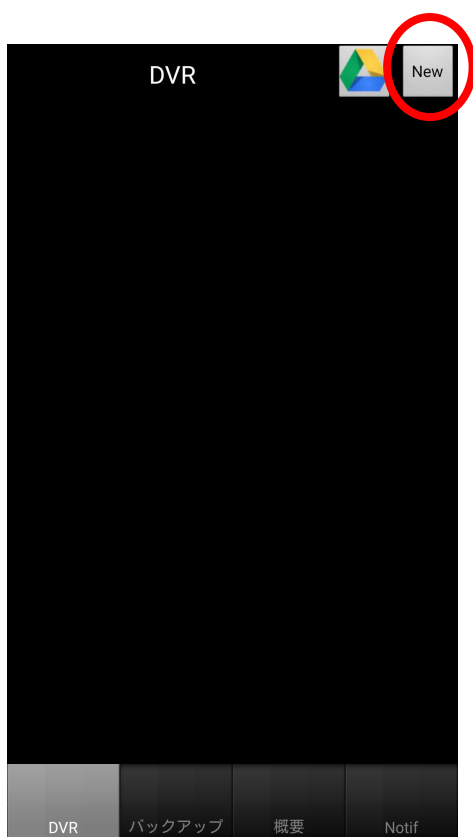
"SoCatch"を検索して Accept & Downloadでインストールしてください。



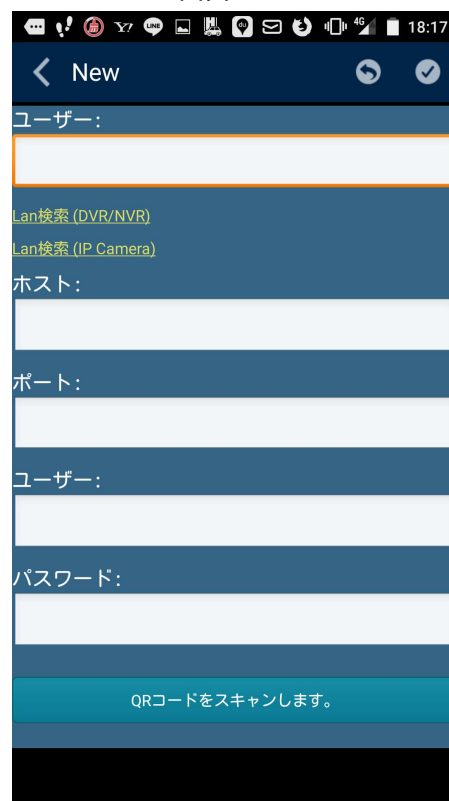
“SoCatch”アイコン  をタップして、プログラムを起動してください。

新規の DVR 情報を入力します。

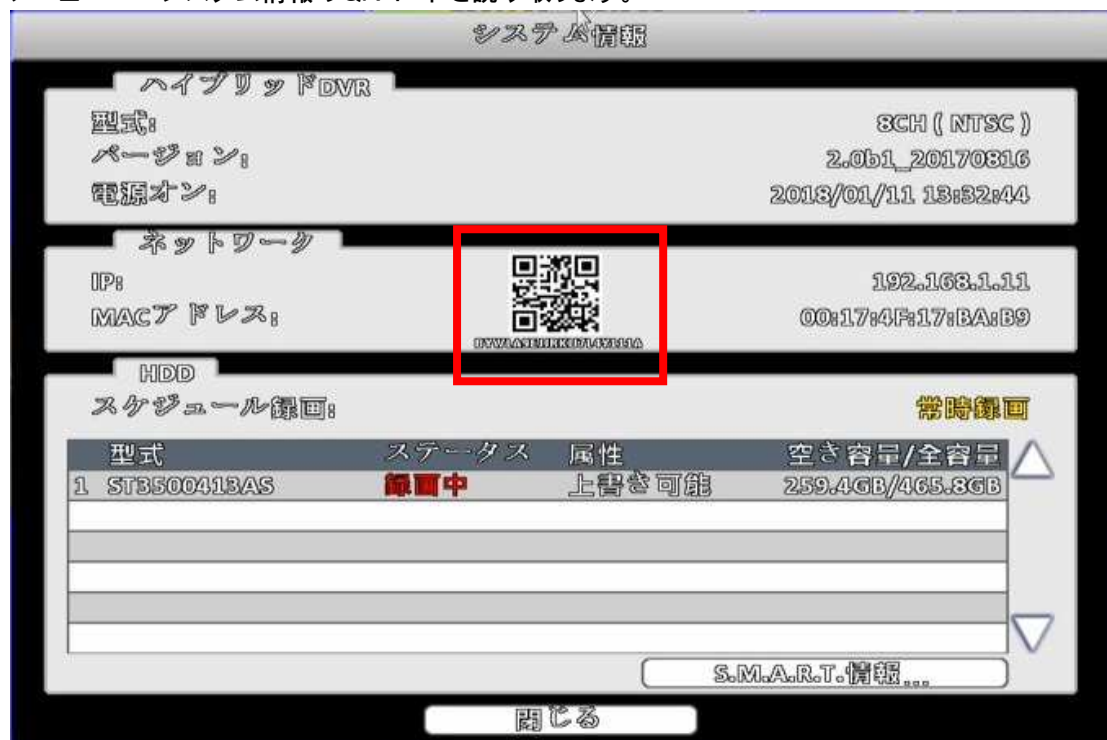
初めて、このプログラムをご使用になる時は、以下のステップに従って、DVRの情報を入力して保存してください。“New” ボタンを押すとDVR登録画面が表示されます。



New DVRの画面

The image shows the "New DVR" registration screen. It has a dark blue header with a back arrow and the word "New". Below the header, there are several input fields: "ユーザー:" (User), "Lan検索 (DVR/NVR)" (Lan search (DVR/NVR)), "Lan検索 (IP Camera)" (Lan search (IP Camera)), "ホスト:" (Host), "ポート:" (Port), "ユーザー:" (User), and "パスワード:" (Password). At the bottom, there is a button that says "QRコードをスキャンします。" (Scan QR code).

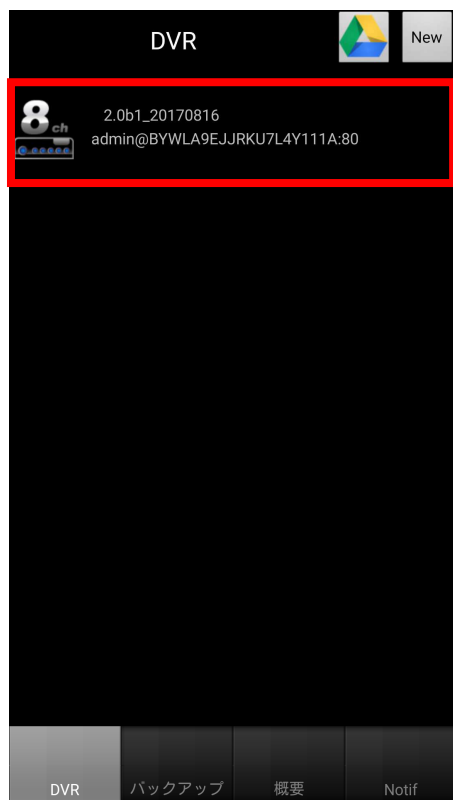
下段の“QRコードをスキャンします”をタップします。
メニュー ⇒ システム情報のQRコードを読み取ります。



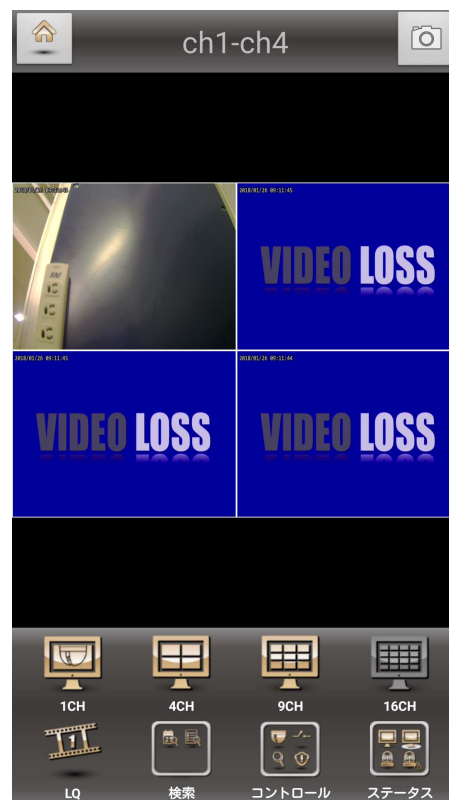
ホスト、ポート、ユーザー、パスワードが自動で入力されます。
ユーザーを入力し、“保存”をタップします。



登録したDVRをタップします



接続完了画面。



附則 操作PCに必要なシステム仕様

CPU	Intel Core 2 Due 以上
OS	Microsoft Windows 7, Windows Vista, Windows XP SP2 以上
RAM	4G 以上
VGA Card	Needed to support DirectX9.0 (Above)
Anti-virus software (firewall)	The TCP destination port 80 should be available.
Others	DirectX 9.0 above